

沖縄県立博物館年報

No. 10



1977

沖縄県立博物館

目 次

序.....	館長 外 間 正 幸
創立30周年記念事業.....	(1)
沿革.....	(1)
日誌.....	(3)
施設・設備.....	(6)
事業.....	(8)
展示.....	(8)
調査・研究活動.....	(14)
資料収集活動.....	(17)
資料整理.....	(17)
資料保存・修理.....	(18)
教育普及活動.....	(19)
入館者数.....	(22)
資料.....	(26)
収蔵資料現在高.....	(26)
新収蔵資料.....	(26)
新収蔵図書.....	(29)
主なる新収蔵品写真.....	(38)
組織.....	(42)

* 表紙写真：高倉全景

序

昭和51年度は、4月24日に当館が創立30周年を迎えたので、私たちはこの年を意義あらしめ、かつ、将来の発展を期すべく、いろいろの催物を行ない、一般の人々へも強くアピールしました。

すなわち、年度初めに記念式典を催し、引続き館の内外を整備しつつ12月に30年の歩み展や記念講演会を行ないました。その間、今帰仁村渡喜仁浜原貝塚の発掘や、毎月の文化講座等も活発に行なわれ大きな成果をあげました。さらに、年度末には沖永良部島から高倉の寄贈を受け、30周年記念に館の前庭に移築しました。

これらのことばは「30周年記念誌」や「博物館だより」を発刊して詳しく記載しましたが、51年度の年報でも報告することにしました。当館の30年の歩みを内外の多くの方々に知つていただき、なお、今後の一層の御協力をお願いするしだいであります。

昭和52年7月

館長
外間正幸

創立30周年記念事業一覧

記念事業写真

昭和51年4月24日

沖縄県立博物館創立30周年記念式典

12月4日

沖縄県立博物館創立30周年記念講演会

○特殊動物に見る沖縄の自然

池原貞雄氏（琉大理工学部教授）

○琉球史と地理学・考古学との接点

友寄英一郎氏（琉大法文学部教授）

12月4日

沖縄県立博物館30周年記念誌発行

12月4日～12月19日

沖縄県立博物館30年の歩み展

昭和51年1月16日

沖永良部島より高倉移築完了

1月24日

沖縄県立博物館だより第1号発行（創立30周年事業特集）

沿革

- 1945年8月
(昭和20年) 米国海軍軍政府により残欠文化財が収集され、石川市東恩納に「沖縄陳列館」設立される。
- 1946年3月
(昭和21年) 首里城周辺の廃墟から残欠文化財の収集活動が行われ、「首里市立郷土博物館」が設立される。
- 1946年4月
(昭和22年) 沖縄陳列館は沖縄民政府に移管され「東恩納博物館」と改称。
- 1947年12月
(昭和22年) 首里市立郷土博物館は沖縄民政府に移管され、「首里博物館」と改称。
- 1953年5月
(昭和28年) 首里当蔵町の龍潭池畔に瓦葺の本館とペルリ記念館落成。東恩納博物館と合併し、規模拡大する。
- 1955年9月
(昭和30年) 首里博物館を「琉球政府立博物館」と改称。
- 1966年10月
(昭和41年) 米国援助により、首里大中町の尚家跡に鉄筋コンクリート建(3,294m²)の新館が落成、移転する。
- 1972年5月
(昭和47年) 日本復帰に伴い、名称を「沖縄県立博物館」と改称。
- 1973年2月
(昭和48年) 国庫補助を得て1,573m²の2階を増築。展示室が3室ふえる。
- 1976年
(昭和51年) 創立30周年記念事業挙行。



創立30周年記念式典



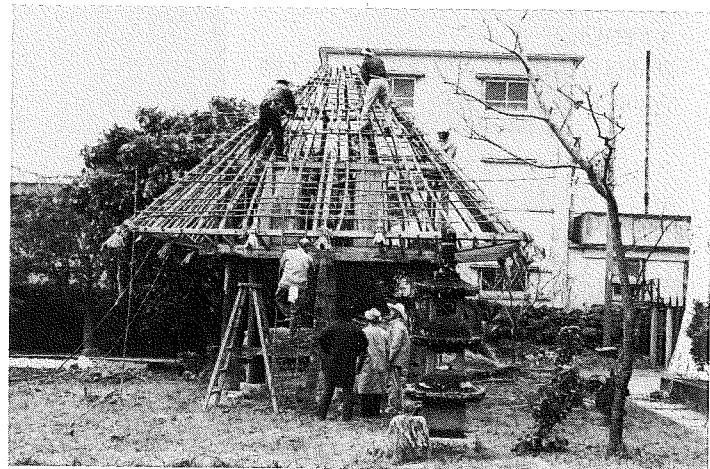
記念講演会（講演中の池原貞雄琉大教授）



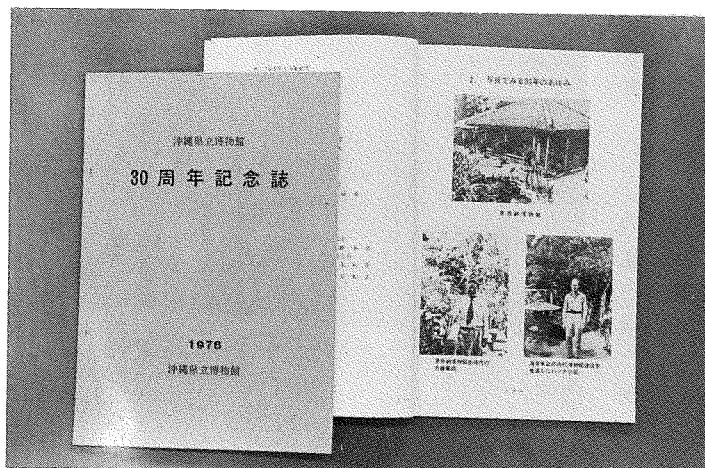
講演中の友寄英一郎琉大教授



沖縄県立博物館30年の歩み展



建築中の高倉



創立30周年記念誌

日誌

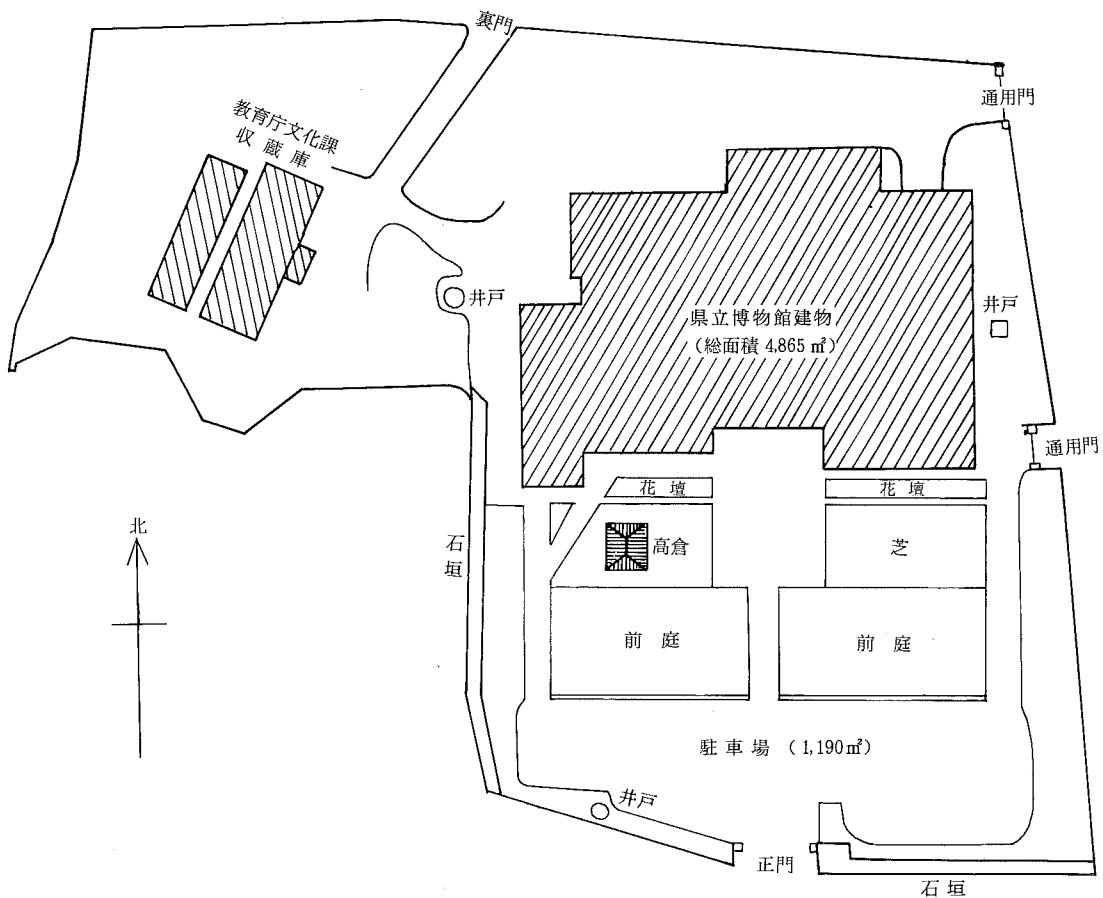
(昭和51年4月～昭和52年3月)

4. 1 キリスト教短大入学式のためホール使用。
- 4 同志社大学三上次男教授、田村助教授来館。
- 14 琉球庭園の調査のため国際海洋博首席調査官流郷祐一氏来館。
- 14 博物館観覧状況取材のためN H K 沖縄放送局副部長佐藤啓一氏来館。
- 16 琉球大学美術工芸科主催「美工科卒展」開催(4月22日まで)。
- 16 博物館協議会開催(30周年記念行事について)。
- 17 第24回博物館文化講座「昆虫の話」(講師東清二琉球大学農学部助教授)。
- 24 沖縄県立博物館30周年記念式典挙行(於当博物館講堂)。
- 28 首里鳥堀町の当間喜氏より吸物椀1点(明治10年東京での勧業博覧会の出品物)寄贈。
- 29 今帰仁村渡喜仁浜原貝塚発掘開始。
5. 7 鹿児島民俗学会の下野敏見氏民俗資料撮影及び実測のため来館。
- 14 山梨大学長古尾直臣氏来館。
- 18 赤絵鶴首瓶等陶磁器資料15点購入。
- 20 新匠工芸会の伊砂利彦氏展示会打合せのため来館。
- 21 那覇地方検察庁より厨子甕等7点搬入。
- 22 第25回博物館文化講座「明治維新と沖縄」(講師金城正篤琉大助教授)。
- 23 澳洲雪黎大学劉維廉氏来館。
- 27 住吉具慶筆といわれる屏風預る(6月26日まで)。
- 30 T B S 映画社より映画フィルム「沖縄の工芸」寄贈。
6. 2 「洛中洛外之図」屏風(6曲1双)調査のため琉球大学美術工芸科教授玉那霸正吉氏、山元恵一氏来館。
- 12 首里音頭のためホール使用。
- 16 米須清方氏より自了筆の「白沢の図」寄託。
- 18 宮里仁徳氏より厨子甕1点寄贈。
- 18 沖菱K Kによる空調機水漏れ修理。
- 21 桐和空調K Kによる冷房機修理。
- 25 高等学校英語研究会総会のためホール使用。
- 25 博物館資料(金城次郎作陶器2点)購入。
- 25 桑江朝成氏より製糸機の寄贈。
- 26 第26回博物館文化講座「近代沖縄の歩みと社会教育」(講師田港朝昭琉球大学教授)。
- 26 書画「魚売りの図」他3点の修理を当間恵喜氏へ依頼。
- 28 煙蒸および展示替えのため閉館。(7月4日開館)
7. 2 収蔵庫の除湿機取り付け工事。
- 6 新匠会主催「新匠会沖縄展」開催(7月18日まで)。
- 9 女子美大学長柳悦孝氏「御絵図帳」の調査のため来館。
- 15 九州数学研究会ホール使用。
- 17 台風14号警報発令により休館。
- 20 「混効験集」修理のため館長が持参し東京へ。
- 21 沖縄館へ資料貸出。
- 23 県音楽教育研究会ホール使用。
- 24 第27回博物館文化講座「沖縄沿近海の魚」(講師伊佐次郎県水産試験場長)。
- 29 大英博物館より皇太子殿下へ贈られた始祖鳥のレプリカ標本平良幸市県知事を通じ当館へ寄贈。
8. 20 福岡市立歴史資料館長三島格氏来館。
- 21 東京の山中純孝氏より鄭元偉書軸物購入。
- 21 文化庁企画T B S 映画「沖縄の民具」放映(担当上江洲学芸員)。
- 27 琉球大学教授安次富長昭氏「八曲屏風」調査のため来館。
- 28 第28回博物館文化講座「琉球の建築」(講師又吉真三沖縄建築研究会長)。
9. 3 東京都立大学総長沼田稻次郎氏来館。
- 4 那覇市の島袋慶輔氏より位牌寄贈。
- 7 沖縄伝統織物技法伝承者主催の「第1回伝統織物発表展」開催(9月12日まで)。
- 9 台風17号警報発令により休館。
- 10 文化財修理技術者協会理事会(当会議室)。
- 10 伊波普獣生誕百年記念資料展示会へ資料貸出。
- 11 台風災害のため小波津組による補修工事。

- 国立科学博物館長谷川善和博士来館。
第29回博物館文化講座「門中の話」(講師比嘉政夫琉大助教授)。
- 具志川市教育委員会より苦増原遺跡の遺物ならびに貯蔵穴を受入。
具志川市教育委員会主催の地荒原、苦増原遺跡の調査について懇談会(当館会議室)。苦増原遺跡遺物整理作業(沖国大O B 4人) 18日まで。
- 12 朱塗沈金蝶模様文庫他2点修理を終了、納品。
- 19 八重山美術会主催「八重山美術展」開催(10月24日まで)。
- 23 第30回博物館文化講座「沖縄の村」(講師仲松弥秀元琉球大学教授)。
11. 1 県芸術祭(美術展)開催(6日まで)。
7 吉田真栄氏より馬艦船模型寄贈される。
9 県指定無形文化財工芸展開催(14日まで)。
- 16 沖縄びんがた伝統技術保存会主催「びんがた展」開催(21日まで)。
- 16 韓国学術院会員金載元氏、九州大学助教授西谷正氏来館。
- 19 沖縄郵便趣味連盟へ切手原画16枚貸出。
- 20 NHK「青年の主張」でホール使用。
- 24 国立民族学博物館山本順人氏来館。
沖縄郵便趣味連盟より切手原画16枚返還。
- 25 大阪市立博物館長平山敏治郎氏来館。
- 27 第31回博物館文化講座「沖縄の空手」(講師宮城篤正学芸員)。
12. 2 琉球大学英語クラブ発表会のためホール使用(5日まで)。
- 4 創立30周年記念講演会(講師池原貞雄琉大教授、友寄英一郎琉大教授)
「沖縄県立博物館30周年記念誌」刊行
- 4 当館主催「博物館30年の歩み展」開催(12月19日まで)。
- 6 ノースウエスト航空の国吉多美子氏より南米ブラジル産化石寄贈。
- 9 文化財鑑査官坪井清足氏来館。
- 12 伊波普猷記念会へ映画フィルム「琉球の民芸」、「琉球の風物」2本貸出。
- 13 高倉移築開始(館長他職員2人沖永良部島へ)。
- 16 首里金城町の当真嗣起氏よりオオシヤコ貝1点寄贈。
- 17 黄色地松竹梅鶴亀模様紅型風呂敷購入。
- 18 第32回博物館文化講座「沖縄の子どもの遊び」(講師前川守夫コザ高等学校教諭)。
- 18 沖縄館へ陶磁器他11点の資料貸出。
- 22 キリスト教短大英語クラブホール使用。
- 24 高等学校家庭科クラブホール使用(26日まで)。
- 24 高倉本体沖永良部島より到着。
- 24 亀浜常久氏より土器壺、水甕など陶磁器、民俗資料14点寄贈。
- 24 馬艦船寄贈者吉田真栄氏へ感謝状贈呈式(於館長室)。
- 25 沖縄県高等学校家庭クラブ展示会開催(12月26日まで)。
- 28 煙蒸開始。御用納め。
- 28 那霸市の大浜晴美氏より位牌他仏具一式寄贈。
1. 4 御用始め、展示替えのため閉館(1月7日まで)。
- 10 沖永良部島の沖野千代氏より民俗資料24点寄贈。
- 10 高倉の移築組立作業開始(1月17日完了)。
- 18 やましん商会による1階収蔵庫前防水及びエキスパンション工事。
- 19 参議院文教委員会調査室長瀧嘉衛氏来館。
- 21 「あもろさうし」修理をおえ全22巻帰る。修理にあたった池上幸二郎氏夫妻を迎えて祝賀パーティー開催(第2室)。
- 22 第33回博物館文化講座「洞窟の話」(講師下謝名松栄普天間高等学校教諭)。
- 22 沖縄県文化財修理技術者協会主催の講演会(於ホール)。
- 22 首里高等学校染織デザイン科O B主催「染織工芸展」開催(1月30日まで)。
- 22 社会教育振興大会具志川市で開催(上江洲学芸員参加)。
- 25 具志川市の苦増原遺跡より炉跡、貯蔵穴の遺構を受け入れる。
- 26 消防訓練実施。
2. 12 沖縄県市町村文化財保存連絡協議会結成のためホール使用。
- 14 首里高等学校主催「染織デザイン科卒展」開催(2月23日まで)。
- 15 喜名焼水甕、知花焼味噌甕等5点購入。

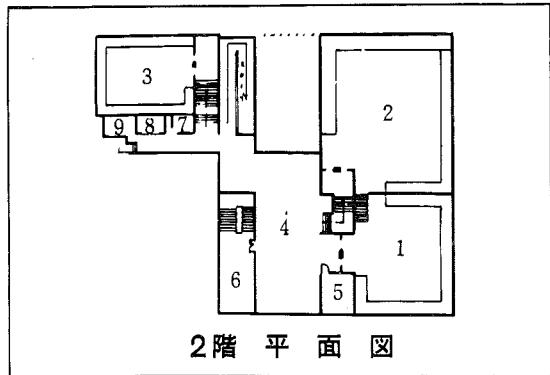
- 15 「沖縄県立博物館だより」刊行。
- 21 NHK 「こんばんは沖縄」の撮影。
- 25 伝統工芸指導所主催「研修生発表展」開催（2月27日まで）。
- 26 第34回博物館文化講座「身近な野草」（講師高良拓夫小禄高等学校教諭）。
3. 4 日本電信電話公社総裁秋草篤二氏来館。
- 5 高教組文化祭のためホール使用。
- 5 高教組主催「絵画、書道、写真展示会」開催（3月6日まで）。
- 7 变電室修理。
- 9 八重山の玉木正吉氏よりアンガマ面2点寄贈。京都の伊藤勝一氏よりアイロン3点寄贈。
- 10 三味線「江戸与那」、「志多伯開鐘」又吉真栄氏へ修理依頼。
- 10 「沖縄県立博物館協議会」開催。
- 10 「首里高校、沖縄盲学校、沖縄工業高校陶芸クラブ作品発表展」開催（3月14日まで）。
- 11 沖縄県博物館協会（仮称）設立発起人会。
- 15 朱塗蒔絵丸型東道盆等漆器3点購入。
- 15 「沖縄県立博物館収蔵品目録」II発行。
- 16 海洋博沖縄館へ資料50点貸出。
- 16 サントリー美術館副館長平井鮮一氏来館。
- 16 沖縄県ユネスコ協会主催「ユネスコ展」開催（3月22日まで）。
- 23 文化庁へ勝連城跡青磁破片（35点）貸出。
- 24 「博物館だより」第2号発行。
- 25 沖縄県博物館協会第1回準備会開催。
3. 26 第35回博物館文化講座「沖縄の印章」（講師玻名城泰雄石垣市立博物館長）。
- 26 藍型菖蒲模様着物1点購入。
- 31 「沖縄県立博物館紀要」第2号発行。
- 31 嶺井宗太郎氏よりサバニ1点寄贈。

施設配置図

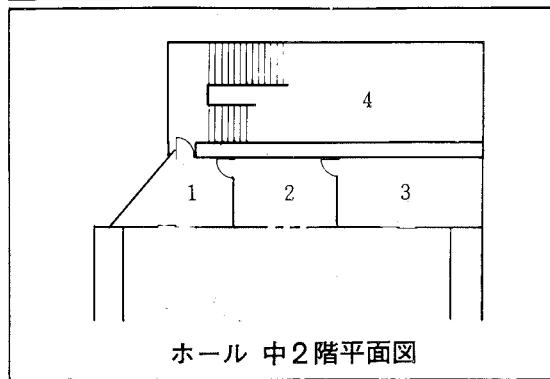


博物館全景

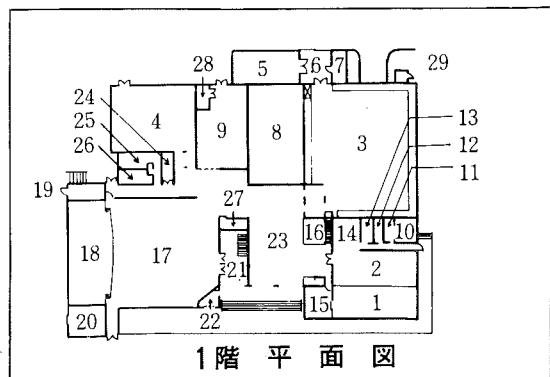
施設・設備



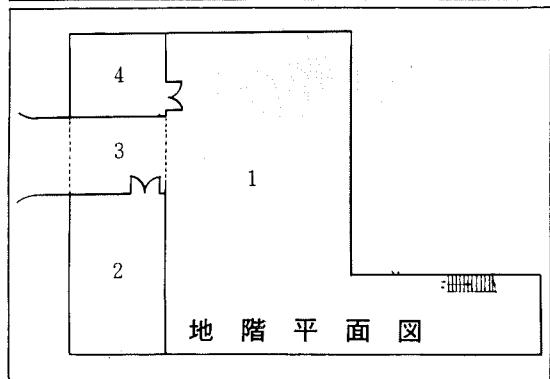
2階平面図



ホール中2階平面図



1階平面図



地階平面図

●概要

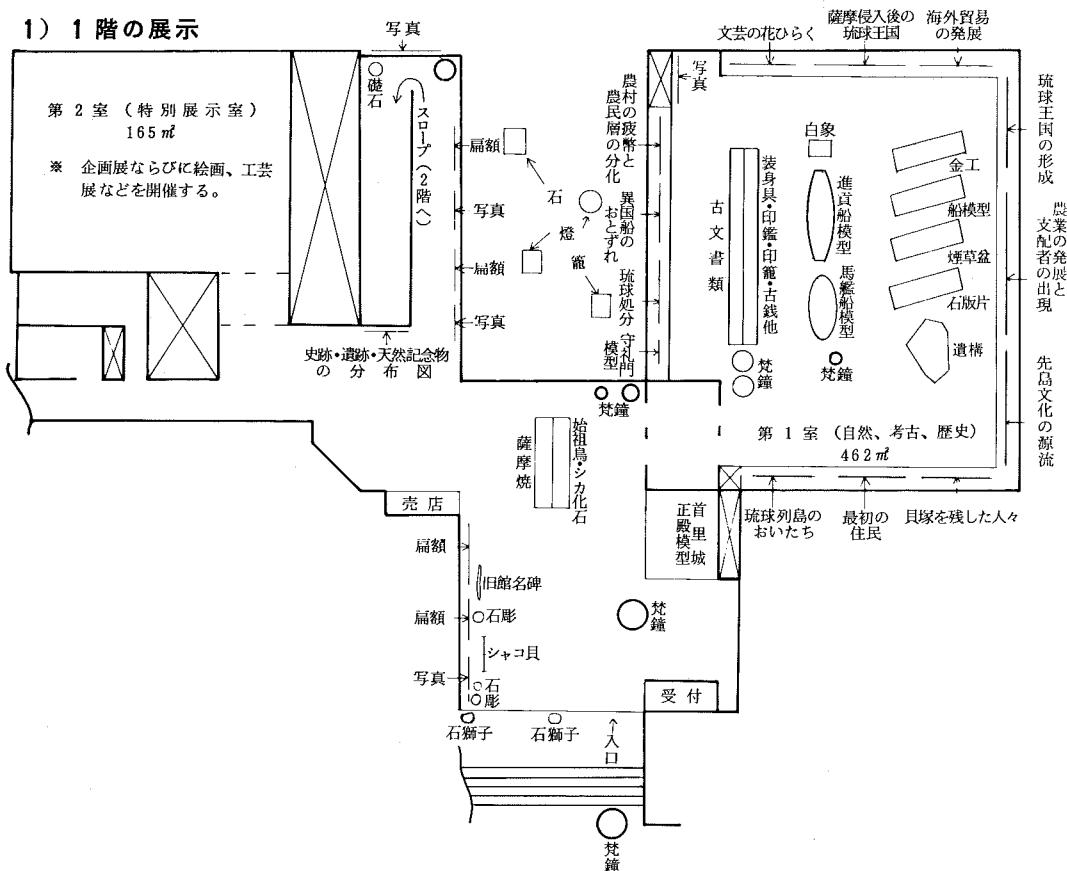
敷地面積	11,246 m ²
建物面積 (m ²)	2,261 2,209 地階 395 計 4,865
展示面積	1階 627 2階 870 計 1,497
ロビー面積	637
収蔵庫面積	417
駐車場面積	1,190
庭園面積	1,612
冷房機	(チラ一) 圧縮機22KW×3台 冷凍能力13.2トン×3台
空調機	第1室 2.2KW 第2室 0.75KW 第3, 4室 5.5KW 第5室 1.5KW 講堂 5.5KW
変電室	電灯 3P 100KV A×1台 1P 30KV A×1台
契約電力	動力 3P 150KV A×1台 206KW業務用電力
講堂	客席数 1階 434席 2階 196席 計 630席 テスク型アンプ 1台 マイク 3台

●室名と面積

2階 室番号	室名 面積 m ²
1	(第3室) 美術工芸展示室 265
2	(第4室) 民俗展示室 435
3	(第5室) 陶磁器展示室 170
4	ロビー 257
5	空調室 29
6	ホール控室 59
7	化粧室(女) 6
8	化粧室(男) 11
9	空調室 12
ホール中2階	
1	調光室 13
2	映写室 18
3	音響効果室 21
1階 室番号	室名 面積 m ²
1	事務室 83
2	資料室 83
3	(第1室) 歴史展示室 462
4	(第2室) 特別展示室 165
5	収蔵庫 120
6	荷解場 32
7	漆器収蔵庫 11
8	中庭 152
9	扇子収蔵庫 91
10	宿直室 10
11	湯沸室 7
12	化粧室(男) 6
13	化粧室(女) 7
14	図書室 27
15	館長室兼廊接室 27
16	模型コーナー(首里城) 20
17	講堂(客席) 1,023
18	ステージ 99
19	控室 15
20	控室 29
21	講堂出入口 36
22	守衛室 6
23	ロビー 380
24	倉庫 12
25	化粧室(女) 21
26	化粧室(男) 15
27	売店 10
28	空調室 10
29	ポンプ室 5
地階 室番号	室名 面積 m ²
1	収蔵庫 195
2	冷房機室 56
3	荷解場 28
4	変電室 28

事業展示

1) 1階の展示

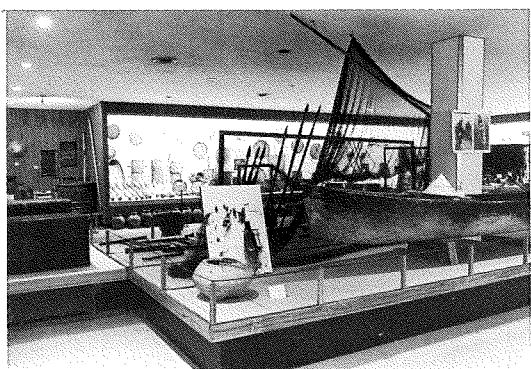
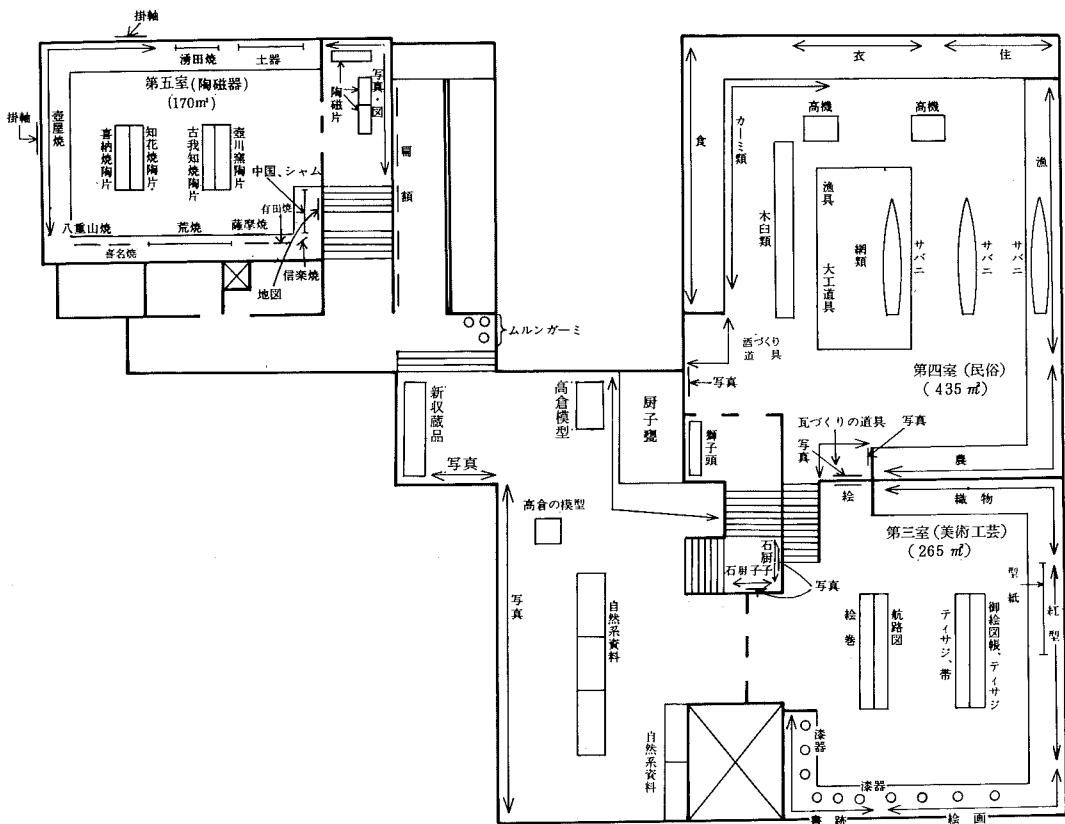


第1室

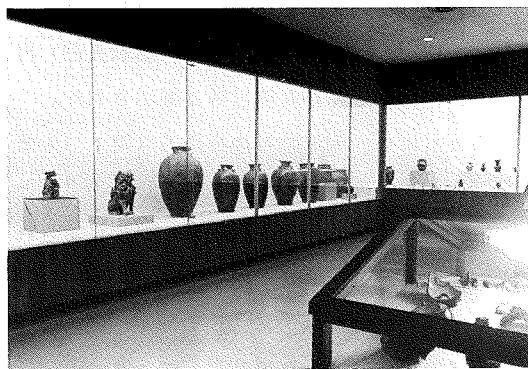


第3室

2) 2階の展示



第4室



第5室

3) 概 略

展示についてはまず、前庭に沖永良部島から移築した高倉がある。当館ではこれまで屋外の展示のひとつに高倉移築を考えてきたが、沖縄本来の高倉は数が少なく、なかなか実現出来なかつた。しかし、幸いなことにこのたび沖永良部の高倉の寄贈を受け、移築作業も完了し、参観者の人気を集めている。

沖縄に古くからあった在来の高倉は重要民俗資料として県指定を受けるほど数少ないもので、この沖永良部島の高倉は比較研究資料としてきわめて価値の高いものである。

なお、高倉の周辺には石敢當2個、砂糖キビ圧搾用の石車6個、石臼3個も同時に屋外展示されている。

以下、各展示室毎に順序よく、前回と展示変更したもの、または新しい展示品などをあげてみたい。

第1室では新しく10分の1縮尺の馬艦船模型、具志川市苦增原遺跡から出た遺構（灰跡、貯蔵穴）が加わった。

第2室は当館主催行事を中心に、館外からの団体、もしくは個人からの申し込みによる展覧会を催してきた。（別表参照）

第3室の美術工芸の部門では徐葆光書（寄託品）をはじめ、六幅対の鄭元偉（湖城長烈）書、それに新作のびんがた風呂敷が展示された。

第4室には、琉球塗りの長持ち（筈）〔朱塗箔絵、黒塗箔絵、朱塗無地家紋入り〕の3点とそれに酒造用具と酒壺、酒甕類が追加展示された。

第5室は新収蔵品の宮古式土器壺の他に壺屋焼の屋根獅子2軀、酒甕2点が展示された。ケース内の壁面には19世紀の田名宗経筆の彫刻下図、19世紀中期頃の楽童子（馬文英、魏学賢、毛経藩）の書3幅を展示した。

1階ロビーにはオオシャ貝（1点）と皇太子殿下からご寄贈賜わった始祖鳥の化石標本（レプリカ）＜現物は大英自然史博物館に所蔵＞を展示した。

2階ロビーの一角に位牌ならびに仏具一式と牛骨製三味線、陶磁器、釦（武具）などの収蔵品を展示した。

なお、51年度からは部分的ではあるが、予算の範囲内で写植による展示解説パネルを第1室に5枚、第4室に19枚を新しく増した。



第2室（特別展示室）

4) 第2室展示一覧

昭和51年4月～昭和52年3月

年月日	展覧会名	主催者
S 51 4・16～ 4・22	琉球大学美術工芸科卒業展	琉球大学美術工芸科
7・6～ 7・18	新匠会沖縄展	新匠会
9・7.～ 9・12	伝統織物展	伝統織物保存会
10・16～ 10・24	八重山美術展	八重山美術会
11・1～ 11・7.	県芸術祭美術展	沖縄県教育委員会
11・9～ 11・12	県芸術祭無形文化財指定工芸展	沖縄県教育委員会
11・16～ 11・21	沖縄びんがた伝統技術保存会作品発表展	沖縄びんがた伝統技術保存会
12・4～ 12・19	沖縄県立博物館30年の歩み展	当館
12・25～ 12・26	沖縄県高等学校家庭クラブ展示会	沖縄県家庭クラブ連盟
S 52 1・22～ 1・30	染織工芸展	染織工芸研究会
2・14～ 2・23	首里高等学校染織デザイン科卒業展	首里高等学校染織デザイン科
2・25～ 2・27	作品発表展	沖縄県立伝統工芸指導所
3・5～ 3・6	高教組文化祭作品発表展	高教組
3・9～ 3・14	三校合同陶芸クラブ作品発表展	首里高校、沖縄工業高校、盲学校の陶芸クラブ
3・16～ 3・22	ユネスコ展	沖縄県ユネスコ協会

5) 特別展

沖縄県立博物館30年の歩み展

期間 昭和51年12月4日～12月19日

会場 第2室

当館の創立30周年にあたり、記念行事の一環として「沖縄県立博物館30年の歩み展」を開催した。展示はまず館長のあいさつ（パネル）の次ぎに博物館の変遷（パネル）を掲げた。その次ぎからは各地における博物館毎に区切って実物、写真、解説などで歩みがわかるように配置した。

1、廃墟の中から

破壊された首里城、県立一中の校舎残骸、首里教会、護国寺と波之上宮、くずれた石垣と焼けた福木など戦争のつめあとが生々しく感じられる写真パネルを壁面に展示。

その前面の陳列台とケースには、円覚寺の仏像残欠、勾欄羽目、扁額残欠、弾痕を残す金工類、焼けた陶磁器片、石碑の残欠などで戦災を受けた文化財破壊の状況の一部を展示。こうして廃墟の中からの文化財収集活動を通して博物館作りが進められてきた。

2、東恩納博物館時代

1945年8月に米国海軍軍政府によって「沖縄陳列館」が石川市東恩納に設立され、翌年4月民政府に移譲され名称を「東恩納博物館」と改称して活動した時期である。

このコーナーでは当時書かれた「金環園」の扁額、民家を改造した博物館全景、内部の展示風景などパネルと当時の文書類を展示。

3、首里博物館時代

1946年3月に首里市役所の機構の一部に文化部が設けられ、首里城、円覚寺周辺の焦土のな

から一般市民の協力を得て文化財の収集活動を開始し、「首里市立郷土博物館」を開設した。この博物館も翌年12月に民政府に移管され、名称も「首里博物館」と改められた。この間は民政府立の博物館が石川市と首里市の2ヶ所にあった時期である。

このコーナーでは「沖縄郷土博物館」の看板をはじめ、当時の陳列ケース、列品解説札、当時収集した文化財資料などを展示。

4、琉球政府立博物館時代

1953年5月、新館とペルリ記念館が龍潭池畔に新築落成し、首里と東恩納の両館が合併され博物館の規模も拡大し、内容面でも一層充実してきた。この間に旧尚家跡への移転計画が進められ、米国政府からの資金援助を受けて1966年10月に新築落成した。

展示品としては「琉球政府立博物館」の看板の他にパネル写真、陳列ケース、米国返還の文化財、額表装した館名碑、ホール緞帳原画、本土における展示活動を示すポスター類などを展示了。

5、沖縄県立博物館

1972年5月15日、沖縄の日本復帰により「琉球政府立博物館」から「沖縄県立博物館」と改称されて現在に至っている。復帰を目前に控かえ県内外でもいろいろな展覧会が催されたが、それらの展覧会への出品をはじめ、館内における文化財の修理と保存、展示活動など。また、文化財の寄贈や寄託品、それに所蔵品の中から名品をいくつか展示。

一方、館報、年報、研究紀要類をはじめ、展覧会の各種パンフレット、ポスター、文化講座のレジュメなど、いろいろな資料を通して当館が社会教育面でも大きな役割を果しつつ幅広い活動をしている状況をも紹介した。同時に予算の推移や展望、将来構想図などをパネル化して将来に向けて発展する当館の姿を浮彫りにした。

沖縄県立博物館30年の歩み展

出 品 目 鑄

1. あいさつ（パネル） 館長
 2. 博物館の変遷（パネル）

廃墟の中から

3. 破壊された首里城(1945年) 写真パネル
 4. 県立一中の校舎残骸 (") "
 5. くずれた石垣と焼けた福木 (") "
 6. 首里教会 (") "
 7. 護国寺と波之上宮入口 (") "
 8. 内間御殿扁額
 9. 円覚寺の仏像残欠
 10. 世持橋石欄羽目残欠 (3)
 11. " の写真 (2葉) 大正末期
鎌倉芳太郎氏さつえい
 12. 護国寺扁額残欠
 13. 扁額 (円覚寺か?)
 14. 臨海寺梵鐘 (1459年作)
 15. 円覚寺周辺から収集された残欠
漆器(2)、透かし彫り(22)、仏頭(1)
蓮花の台座(2)、「沖師」の印(1)
収蔵庫内の写真 (2葉)
 16. 浦添ようどれ石碑残欠(2)
 17. " " 拓本(1620年戦前の拓本)
 18. 聯の残欠 (2)
 19. 円覚寺仁王像、手足の部分残欠 (4)
 20. " 周辺から収集された金属製品(10)
 21. 陶磁器片 (16)、とけたガラス片(1)

東恩納博物館時代

22. 金環園扁額(1)
 23. 展示風景(写真パネル)
 24. 建物全景(“ ”)
 25. 初代館長 大嶺薰氏(“ ”)
 26. 現代史編纂資料(文書) 東恩納博物館
(1946・5)

- 首里博物館時代**
- 27. 沖縄郷土博物館（看板）
 - 28. 首里博物館の玄関（写真パネル）
 - 29. 二代館長 豊平良顕氏（〃）
 - 30. 列品解説札（板）(4)
 - 31. 新聞切抜帳（1950年頃）1冊
 - 32. " (1951~1952年) "
 - 33. " (1953~1954年) "
 - 34. 名刺綴（1952年頃）(2)
 - 35. 住所録 (2)
 - 36. 沖縄民政府印 1946年
 - 37. 沖縄群島政府印 1950年
 - 38. 屋根獅子（頭シーサー）19世紀 壺屋焼
 - 39. 玉陵獅子 写真（一葉）
 - 40. 三代館長 原田貞吉氏（写真パネル）
 - 41. 首里博物館時代の陳列平ケース(1)
 - 42. 円覚寺鳳凰透かし彫り仏間引戸(1)
 - 43. 列品解説 1947年頃 (6) うち2点英文
 - 44. びんかたのテーブル掛け 1950年 城間栄喜氏作
 - 45. 国宝 首里城正殿模型の解説 (1)
- 琉球政府立博物館時代**
- 46. 琉球政府立博物館（看板）
 - 47. 龍潭池周辺の航空写真（パネル）
 - 48. 博物館の玄関 (〃)
 - 49. ペルリ記念館 (〃)
 - 50. 四代館長 山里永吉氏 (〃)
 - 51. 五代館長 金城増太郎氏 (〃)
 - 52. 陳列室の内部 (〃)
 - 53. 陳列平ケース (5)
 - 54. 陳列三角ケース (2)
 - 55. 米国返還の文化財
 - おもろさうし（複写）18冊、影印本1冊
 - 混効験集3冊〔他は説明文で明記〕
 - 56. 昭和18年に描かれた尚家附近の風景
 - (油絵) 大嶺政寛氏作
 - 57. 琉球政府立博物館館名碑 謝花雲名書
 - 58. ホール緞帳原画（1966年）安谷屋正義作
 - 59. 六代館長 大城知善氏（写真パネル）
 - 60. 新館落成記念切手（1966・10・6発行）
 - 61. 写真ニュース №241 (1966・9・26)
 - 琉球米国民政府
 - 62. " №244 (1966・10・24)
 - "
- 63. 守礼の光 97号 1冊
 - 64. 新聞切抜帳（落成式関係記事）1冊
 - 65. 新館落成式典における行政主席の
あいさつ（1966・10・6）
 - 66. 開館式における " (1966・11・3)
 - 67. 戦前の尚家の石垣および正門（写真3葉）
 - 68. 新館の建築工事（完成まで4葉）
 - 69. 日本古美術展—くらしの中の美—
(ポスター) 3・20~4・8
 - 70. 沖縄の歴史展 1972・3・7~5・18
(ポスター2枚)
 - 71. 沖縄の歴史展チラシ (1枚)
 - 72. 「50年前の沖縄—写真でみる失われた遺宝
」展 (ポスター2枚)
 - 73. 50年前の沖縄展会場風景 (写真パネル)
 - 74. 沖縄の歴史展関係新聞
 - 75. 日本古美術展 "
 - 76. 新聞切抜帳（展示会ならびに施設の利用
(1冊)、文化財収集活動(1958年)1冊)
 - 77. 拓本「中山第一」徐葆光書
- 沖縄県立博物館**
- 78. 沖縄県立博物館（看板）
 - 79. 沖縄の陶器 琉球電々公社発行 1冊
 - 80. 特別展 古我知焼 (ポスター)
 - 81. 復帰記念日本古美術展 (〃)
 - 82. 冊封使行列図 (文化財の修理の例)
の修理前の写真
 - 83. " " の修理後の写真
 - 84. 油壺 19世紀 壺屋焼
 - 85. からから " "
 - 86. 赤絵碗 " "
 - 87. 虫喰いの古文書
 - 88. 修理された古文書 (2冊)
 - 89. 木綿浅地つぎはぎ胴衣 (東恩納博物館時
代の収集品)
 - 90. 竹虎の図 作者不詳
 - 91. 竹虎の画幅を観て 昭和31年 初秋 加藤修
 - 92. 赤絵碗 19世紀 壺屋焼
 - 93. 中山世譜 蔡鐸本(2冊)県指定、米国返還
 - 94. 中山世鑑 羽地朝秀 (2冊) " "
 - 95. 沈金食籠 嘉手納将校夫人クラブ寄贈
 - 96. 三味線 江戸与那 県指定
 - 97. 龍頭觀音像 田名宗経作 向井文忠氏寄贈

98. 聞得大君使用雲龍黄金簪 県指定 米国返還
99. 来館者サイン帳 (7冊)
100. 朱塗手焙 19世紀初期 東恩納寛惇氏寄贈
101. 尚泰侯遺愛の手焙について所見 東恩納寛惇氏 1956年4月
102. 堆錦文庫 村井順氏寄贈
103. 館蔵品に関する絵はがきのいろいろ
104. 博物館案内 琉球政府立博物館(1964年)
105. 琉球博物館
106. 博物館案内 琉球政府立博物館監修
107. 博物館あんない 琉球文化社 (1975年)
108. あんない (リーフレット) 4種類
109. 沖縄近代物故美術家展 (ポスター) S 49.
110. " " 会場風景 (写真)
111. 館報、年報、研究紀要類 (10冊)
112. 特別展多和田真淳氏所蔵考古資料 (1冊)
113. 河島美術、文献コレクション
114. 鄭元偉謹書扁額寄贈記念誌 (1冊)
115. 新館落成記念琉球博物館三十年史 (1冊)
116. 収藏品目録 (1) (1946~1958) 1冊
117. 沖縄近代物故美術家展 1冊 (1974年)
118. 沖縄の歴史 朝日新聞社 1冊
119. これが沖縄展だ 1冊
120. 50年前の沖縄 1冊
121. サントリー美術館 - 50年前の沖縄 - 1冊
122. 見学感想文集 (50年前の沖縄) 1冊
123. サントリー美術展 - 沖縄の染織 - 1冊
124. 日本古美術展 (本土文化財保護委員会) 1冊
125. 沖縄における日本古美術展覧会報告書 1冊
126. 日本美術史概観 (日本古美術展に寄せて)
1冊 解説 鎌倉芳太郎氏
127. 日本古美術展 - くらしの中の美 - 1冊
128. 復帰記念 日本古美術展
129. 「かえってくる沖縄展 - その過去と現在 -」出
品目録 1冊
130. 沖縄の工芸 京都国立近代美術館 1冊
131. 30周年記念誌 2冊 (1976年)
132. 博物館文化講座レジュメ 第1回~32回
133. 予算の推移 (パネル) 1
134. 展望 (" ") 1
135. 将来構想図 (" ") 4

2) 調査・研究活動

調査・研究活動の概況および問題点は、76年度の年報で指摘したとおりであるが、77年度についてもいえることであり、今後の大きな課題である。

以下、年度内の状況を列記する。

1) 調査研究・研修活動および大会参加

館長 外間正幸

- 5月 九州博物館協議会理事会および総会出席のため宮崎へ
- 7月 「沖縄の漆器」編集のため東京へ
- 12月 高倉の移築運搬のため沖永良部島へ

学芸員 新田重清

- 4月 今帰仁村渡喜仁浜原貝塚発掘調査のた
め今帰仁へ
- 5月 同 上



渡喜仁浜原貝塚発掘調査

- 7月 地荒原貝塚発掘調査のため具志川市へ
(依頼出張)
- 8月 第2次渡喜仁浜原貝塚発掘調査のた
め今帰仁へ
- 9月 苦增原遺跡調査のため具志川市へ (依
頼出張)
- 10月 埋蔵文化財調査のため八重山へ (依頼
出張)
- 11月 考古学協会大会での研究発表のため熊

	本市へ（私費）	会 参加のため広島大学へ
12月	比嘉景宗氏所蔵文化財調査のため大阪へ（依頼出張）	シカ化石収集および受入れのため玉城村百名へ
1月	文化財指定調査のため伊江島へ（依頼出張）	具志川島遺跡の自然環境調査のため伊是名村へ（依頼出張）
	学芸員 上江洲均	浜原貝塚の自然環境調査のため今帰仁へ（依頼出張）
5月	九州博物館大会出席ならびに研修のため宮崎・佐賀・福岡へ	アンモナイト・フズリナの化石採集のため本部町具志堅へ
"	資料整理のため名護へ（依頼出張）	ゴヘズ洞のシカ化石調査のため伊江島へ（依頼出張）
7月	民具調査（第3次）のため台湾へ（依頼出張）	ケラマジカの調査のため座間味村へ（依頼出張）
9月	民具、民芸実態調査のため竹富島へ（依頼出張）	地質調査のため与那国島へ（依頼出張）
10月	民具学会での発表のため東京へ（依頼出張）	化石採集および地質調査のため屋我地島へ
11月	民具、民芸産業実態調査のため大分、宮崎へ（依頼出張）	久米島の地質調査（依頼出張）
12月	民俗資料受入れのため名護市屋我地へ	学芸員 渡名喜明
"	高倉の移築運搬のため沖永良部島へ	陶磁器調査のため読谷村立歴史民俗資料館へ
3月	神アシアゲ、指定調査のため伊平屋島へ（依頼出張）	8月 御獄調査のため糸満市、具志頭村へ
	学芸員 宮城篤正	" 渡喜仁浜原貝塚発掘調査のため今帰仁へ
4月	渡喜仁浜原貝塚発掘調査のため今帰仁へ	10月 種子取調査のため竹富島へ（依頼出張）
7月	陶磁器調査のため読谷へ	11月 文化財保護指導者研修会のため読谷へ（依頼出張）
8月	沖永良部島の総合調査（依頼出張）	3月 染織等の調査のため竹富島へ
9月	陶磁器調査のため具志川市上江洲へ	" 博物館類似施設等調査のため名護、大宜味へ
10月	古我知焼（窯）調査のため名護市へ	技師 玉城啓一郎
11月	文化財保護指導者研修会のため読谷へ	11月 日博協主催博物館職員研修会参加のため岡山県へ
12月	高倉の移築運搬のため沖永良部島へ	2) 著作・論文その他
3月	文化財指定調査のため久米島へ	学芸員 新田重清
	学芸員 大城逸朗	6月 1975年の考古学界の動向・南西諸島考古学ジャーナルNo.(2) 所収、ニューサ
4月	渡喜仁浜原貝塚発掘調査のため今帰仁へ（依頼出張）	
6月	琉球石灰岩の堆積および岩石学の研究	

イエンス社

11月 沖縄県中頭郡発見の「線刻された石版片」について・南島—その歴史と文化所収 国書刊行会

1月 沖縄の歴史と文化・高校生活を考える

所収・那覇出版社

〃 原始・古代の沖縄(1)

基地内文化財調査概要—御物城の考古学的知見—

・沖縄県立博物館紀要第3号所収・沖縄県立博物館

学芸員 上江洲均

52年 3月 久米島の墓制に関する資料二題・沖縄県立博物館紀要第3号所収・沖縄県立博物館。

学芸員 宮城篤正

8月 金城次郎論・現代の陶芸第15巻所収、講談社

9月 浦添の文化財散歩・青い海No.56所収、青い海出版社

12月 沖縄のやきもの・季刊舊5号所収創樹社美術出版

1月 済州道の旅・造形おきなわ第6号所収

3月 船越義珍

宮城長順

陶器産業

国宝指定一覧

沖縄県史別巻 沖縄近代史辞典所収

沖縄県教育委員会

3月 琉球の赤絵・沖縄県立博物館紀要第3号所収・沖縄県立博物館

作品

5月 海の調べ・第42回旺玄展へ出品(東京都立美術館)

9月 海の調べ・第10回沖縄旺玄展へ出品

(沖縄タイムス・ホール)

学芸員 大城逸朗

6月 琉球列島の表層土壤中のマンガン塊について・地質ニュース 第261号

1月 沖縄諸島久米島・粟国島の最低位ベンチをつくる石灰岩の14C年代 地球科学31巻1号所収

3月 伊是名村具志川島の地形・地質・具志川島遺跡群第一次発掘調査報告書所収 伊是名村教育委員会

〃 琉球列島における鹿化石産出地について・沖縄県立博物館紀要第3号所収 沖縄県立博物館

学芸員 渡名喜明

3月 筒描きの紅型・日本の染織一筒描染所収・泰流社

〃 藍型の抜法・城間栄喜氏からの聞書をもとにして・沖縄県立博物館紀要第3号所収・沖縄県立博物館

佐敷村上城表採の陶磁片について

(普天間敏氏と共同執筆)・昭和52年度佐敷村文化財保護委員会要覧

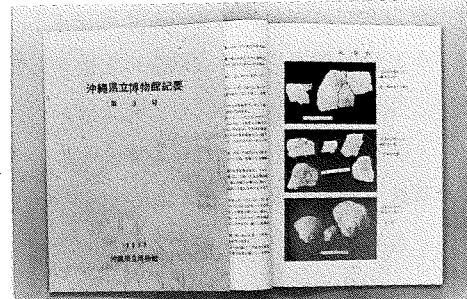
所収 佐敷村教育委員会

柳宗悦

染織業

沖縄県史別巻 沖縄近代史辞典

沖縄県教育委員会



沖縄県立博物館紀要第3号

3) 資料収集活動

博物館は創立30年をむかえた。その間に県民のための博物館として名実共に発展してきた。郷土の自然や文化を大切にして、後世に伝え残すという県民一人一人の意志が、資料の寄贈という結果になってあらわれている。

昭和52年3月末現在、収蔵資料の総点数はおよそ6千点である。その内分は、寄贈約2600点、購入約2200点、それに収集および移管されたもので約1200点である。これらの収蔵資料は、絵画(A)から自然(X)まで17に分類されて登録されている。しかし、資料が次第に増加し、多様化してきた今日、30年間も不動のものであったこの分類方法は、検討されなければならない状況にきている。

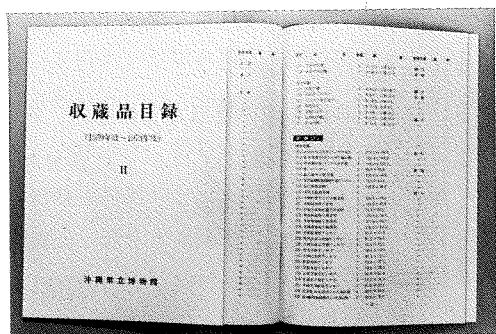
ちなみに、2年前から収集をはじめている自然系資料(分類番号X)は、資料内容ごとの分類方法が定まらずほとんどのものが未登録のままとなっている。

さらに、資料収集に関して問題なのは、各分類された収蔵品の点数を比較してみると、相互に大きいひらきがあることである。これは、資料の性質にもよると思われるが、担当者がいない、あるいは専門でないために、資料収集に片寄りが生じてしまうことに原因があろう。これを解決するには、多くの問題がありすぎるが、資料購入費を増大するなど、購入順位を優先して入手し少しでもそのでこぼこを埋める努力が必要である。

最後に、これまで年間の資料収集目標がたてられたことがなかったし、目標点数についても同じである。資料を収集するという博物館の本来の目的からしても、年間の、5年後の、10年後の目標をたてて収集活動をする必要があろう。反省すべきことである。

4) 資料整理

当館は、戦後の破壊を受けた建造物や文化財の破片を集め、それを保存し、展示することからの出発であった。そのため、現在に至るまで完全な整理が思うにまかせないのである。残欠品の整理は当然修理を伴うので、予算不足や修理技術者不足がいきおいてブレーキとなって、整理作業をおくらせて来た。



沖縄県立博物館収蔵品目録II

しかも、その間には博物館の合併や新築移転等をくりかえし、その度に整理作業も何らかの影響を受けて来た。

当館では、従来、購入(A)、寄贈(B)、収集(C)、返還(D)の4項目に分け、その中でおのの陶器、漆器、織物、書画、木彫、石彫、金属、雑の8つに分類した。

その後、4項の台帳は廃止し、従来の分類をさらにふやして17項目に分類した。すなわち、絵画(A)、書跡(B)、彫刻(C)、建築(D)、陶磁器(E)、染織(F)、漆器(G)、金工(H)、歴史(I)、貨幣(J)、楽器(K)、装身具(L)、民俗(M)、考古(N)

武器・武具（O）、戦争（P）、自然（X）、である。

将来この分類を整理統合し、①自然資料、②歴史・考古、③民俗、④美術工芸の4項目を柱として各々の中で細分類する必要があると考えている。

昭和51年度では、前年度に引続いて「収蔵品目録」第2集を発行した。1959年度から1973年度までをまとめ、55頁からなっている。

昭和52年度は、引き続き第3集を発行し、近い将来全体をまとめる予定である。

一方、資料の分類も館の重点施策に加え、四つを柱にした分類に整理統合していく必要があり、52年度から始動の予定である。

5) 資料保存・修理

(1) 煙蒸

例年の定期的な煙蒸が6月（28日～30日）と12月（28日～30日）に行われた。

展示室に展示されている美術工芸品、書跡、古文書類は収蔵庫に収納してメチルプロマイドによる煙蒸を行なった。収蔵庫以外の展示室、ホール、事務室等は噴霧・消毒剤による防虫駆除を行なった。

28日午後3時半投薬し、翌29日は1日中密閉して煙蒸を行ない、30日は、ガス抜き、空気入換をして煙蒸を完了した。

(2) 博物館資料の修理・補繕

資料修理費は67万円割当てられ、全額執行した。その項目と金額は下記のとおりである。

当面の問題点として、①修理予算費が年額67万円では絶対的に不足であること。②博物館資料を修理できる技術者は県内では、ごく限られた人であり、技術者養成が急務であること。③当館に資料修理のための作業室がなく、倉庫やホールの片隅で行なっているのが現状である。既存施設の改善、増築が必要である。④学芸員各自がある程度の修理・技術を習得して、ものによっては館内で対応できる態勢がのぞましいこと。等があげられよう。

なお、文化庁の昭和49、50年度の美術工芸品保存修理事業費約550万円で行なわれていた国指定文化財「おもろさうし」の修理が終了し、昭和51年1月に当館に帰ってきた。修理にあたったのは池上国宝修理所の池上幸二郎氏である。

絵画・書跡

項目	修理技術者	金額
1. 琉球人舞楽図絵 巻1点	当間恵喜氏	40,000
2. 魚売り図 1点	"	25,000
3. 首里・那覇鳥瞰 図1点	"	25,000
4. 球陽外巻(遺老 説伝)、他	"	30,000
5. おもろさうし 彫刻	池上幸二郎氏 文化庁予算	
1. 円覚寺浮彫修理 他2点	西村貞雄氏 上原隆昭氏	200,000
漆 器		
1. 箱絵東道盆1点	生駒弘氏	90,000
民 具		
1. 牛耕用犁その他 10点	与那覇清友氏	50,000
考 古		
1. 苦增原遺跡出土 の跡跡、貯蔵穴1点	山里銀造氏	210,000



修復なつた「おもろさうし」

6) 教育普及活動

和51年度は創立30周年を迎える。これを記念して教育普及活動の分野でも記念講演会を開催。ほか、記念誌を発行した。また今年度から「沖縄県立博物館だより」を発行した。博物館からの情報提供とあわせて、利用者の声も積極的にとりあげていくつもりである。

(1) 沖縄県立博物館創立30周年記念講演会

昭和51年12月4日に琉球大学教授の池原貞雄氏、友寄英一郎氏を迎えて開かれた。池原氏は「特殊動物に見る沖縄の自然」、友寄氏は「琉球史と地理学、考古学との接点」と題して、それぞれ1時間30分近くの講演を行なった。会場には80名近くの聴講者が集まり、メモをとりながら熱心に耳を傾けていた。記念講演会のあらましは「博物館だより」第1号に、また両氏の記念講演は「沖縄県立博物館紀要」第3号に掲載されている。

(2) 沖縄県立博物館30周年記念誌の発行

30周年記念行事の一環として、戦後の博物館のあゆみをまとめた記念誌を発行した。A5判54頁で、「写真でみる30年の歩み」、「沿革」、「博物館の充実・発展」、「展望」などの項目からなる。編集担当員は新田重清学芸員。

(3) 沖縄県立博物館だより

従来、博物館の諸活動の報告は『沖縄県立博物館年報』、『沖縄県立博物館紀要』、『沖縄県立博物館収蔵品目録』、特別展図録、リーフレット、当館監修の『博物館あんない』などになされてきた。しかし、これらの発行は年刊、または不定期であるため、博物館活動の報告・予定をより早く県民に届ける機関紙の発行が計

画されてきたが、創立30周年を契機に発行に踏みきったのである。創刊号は創立30周年記念事業を主体とし、第2号は沖永良部島からの高倉寄贈を特集した。他に調査報告、資料修理、資料寄贈者御芳名、博物館文化講座の予告、沖縄県立博物館への提言、新収蔵資料紹介、特別展予告などの記事がある。編集担当は渡名喜明学芸員。



沖縄県立博物館だより

(4) 広報活動

博物館の諸事業の紹介は出版物とマスコミを通じて行なっている。昭和51年度は上記の『記念誌』、『博物館だより』の他に『年報』第9号（編集担当渡名喜明学芸員）、『紀要』第3号（編集担当新田重清学芸員）、『目録』第Ⅱ（編集担当上江洲均学芸員）、リーフレットを刊行した。

博物館主催の諸行事の紹介、案内は文書で行われるほか、県下の新聞、ラジオ、テレビでも行われた。

(5) 博物館文化講座

沖縄の自然、歴史、文化に関する教養講座で毎月1回開催している。12月を除く毎月第4土曜日の午後2時30分からの2時間。12月は第3土曜日に開いた。



講演中の東清二琉大助教授

今年度の講座は次の通りである。

昭和50年

4月17日 昆虫の話 参加者80名

講 師 東 清二氏（琉大農学部助教授）

①昆虫とは ②害虫 ③益虫 ④沖縄の昆虫相の特異性

5月22日 明治維新と沖縄－「琉球処分」の歴史的特質－ 参加者92名

講 師 金城正篤氏（琉大法文学部助教授）

①明治維新について ②明治維新＝変革期の沖縄への波及 ③「琉球処分」のプロセス＝段階区分 ④「琉球処分」の時期の沖縄社会の階級構成および各階級の対応 ⑤「琉球処分」の歴史的特質

6月26日 近代沖縄の歩みと社会教育

参加者55名

講 師 田港朝昭氏（琉大教育学部教授）

①地域の教育力 ②社会教育の変遷 ③地域の教育力の復権と沖縄学習

7月24日 沖縄沿近海の魚 参加者30名

講 師 伊佐次郎氏（沖縄県水産試験場長）

①世界の漁業生産の動向 ②日本の水産業の動向 ③沖縄の水産業

8月28日 琉球の建築 参加者74名

講 師 又吉真三氏（1級建築士、沖縄建築研究会長）

①古代の住居 ②安政時代の建築 ③王朝時代の建築

9月25日 門中の話 参加者 112名

講 師 比嘉政夫氏（琉大短大部助教授）

①門中とは何か一いかにとらえられてきたか
②門中組織の地域的変差 ③門中形成の基盤
④今後の研究の課題—比較研究の課題

10月23日 沖縄の村 参加者 80名

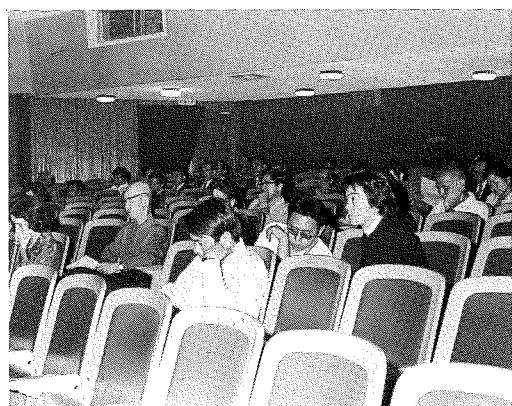
講 師 仲松弥秀氏（元琉大教授）

①村の分類 ②村の立地 ③マキ、ハカ ④祭政一致のマキ（ハカ）社会 ⑤「村」の形成
⑥村の形態と家屋配置 ⑦死者の行方

11月27日 沖縄の古武術 参加者 47名

講 師 宮城篤正氏（当館学芸員）

①空手 ②棒術 ③サイ術 ④ヌンチャク術
⑤トウイファー術 ⑥その他



聴 講 風 景

12月18日 沖縄の子どもの遊び 参加者 25名

講 師 前川守夫氏（コザ高校教諭）

①戦前と戦後における沖縄児童の遊戯観 ②戦後における民俗学的立場からの研究活動 ③子供の遊び ④今後の課題

昭和52年

1月22日 洞窟の話 参加者 150名

講 師 下謝名松栄氏（普天間高校教諭）

①洞窟の定義 ②洞窟の分類 ③石灰洞のでき方 ④琉球列島における石灰洞 ⑤琉球列島における洞窟性動物 ⑥琉球列島における石灰洞の攪乱と破壊の現状

2月26日 身近な野草 参加者 100名

講 師 高良拓夫氏（小禄高校教諭）

①栽培植物と自生植物 ②環境 ③各種の野草

3月26日 沖縄の印章 参加者 80名

講 師 波名城泰雄氏（石垣市立八重山博物館長）

沖縄の公印の種類と変遷をスライド映写をまじえながら解説。

(6) 資 料 紹 介

沖縄県教育委員会機関誌『教育沖縄』に、各学芸員が「博物館名品（資料）紹介」と題して記事を連載している。昭和51年度は次の通りである。

17号 三味線「江戸支那」、「志多伯開鐘」
(上江洲均学芸員)

18号 陸性・海底マンガン塊
(大城逸朗学芸員)

19号 びんがたの型紙 (渡名喜明学芸員)

20号 抱瓶 (宮城篤正学芸員)

21号 シャコ貝製貝斧 (新田重清学芸員)

(7) 館外資料貸し出し

①沖縄国際海洋博記念沖縄館へ

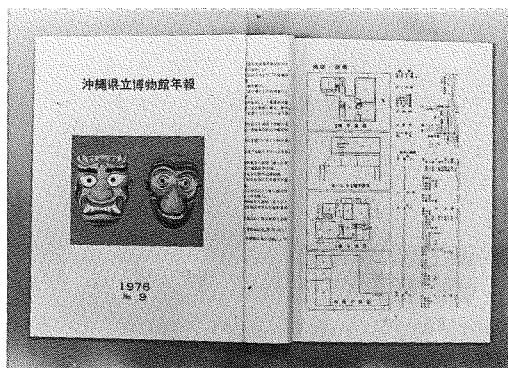
◦陶磁器関係資料30点、漆器 3点、絵画 1点
染織 4点、戦争・戦後資料 3点（昭和51年7月21日より同年12月25日まで）

◦陶磁器関係資料24点、貨幣 4点、書跡 3点
(昭和51年12月18日より同52年3月31日まで)

◦陶磁器関係資料24点、染織 8点、絵画 2点

書跡 6 点、貨幣 8 点（昭和52年 3月15日より
同年 9月30日まで）

- ②伊波普猷生誕百年記念会（沖縄）主催「伊波
普猷生誕百年記念資料展示会」へ
◦絵画 1 点、高麗瓦 10 点、匂玉 3 点、図書 1 冊
（合本）（昭和51年 9月14日より同年 9月20
日まで）
③文化庁主催「在日中国陶磁展」へ
◦勝連城出土染付破片 20 点（昭和52年 3月22日
より昭和53年 1月31日まで）



沖縄県立博物館年報第 9 号

入館者数

昨年度（昭和51年4月～52年3月）の総入館者数
は 86,277 名である。この 15 年間で最低の数字とな
ったのは経済不況による本県への観光客の減少
等の社会情勢によるものであろうか。社会一般
の文化財等への関心の減少あるいは当博物館の
広報活動の不足によるものとは思えない。

1ヶ月平均の入館者数は 7,190 名、1 日平均では
300 名、これは 1 展示室あたり 1 時間に 10 名と
いう計算になり観客が落ちついて見学するため
には適当な数字だと思う。

しかし、実際上は月や曜日でむらがある。月
別では、3月・5月・8月・11月のいわゆる行
楽シーズンに集中する傾向があり、この 4ヶ月
で年間の入館者数の 53% を占める。

団体の場合はこの傾向はなお著しく、11月だ
けで 38% を示し、3月・5月を加えると年間の
63% に達する。特に 11 月に多いのは、いわゆる
文化月間という事で各種団体で博物館見学が企
画されるせいであろう。曜日別では、休日にあ
たる日曜日に多いのは当然の事と思う。水曜日
・ 土曜日に少ない理由は、思いつかない。

月別入館者数

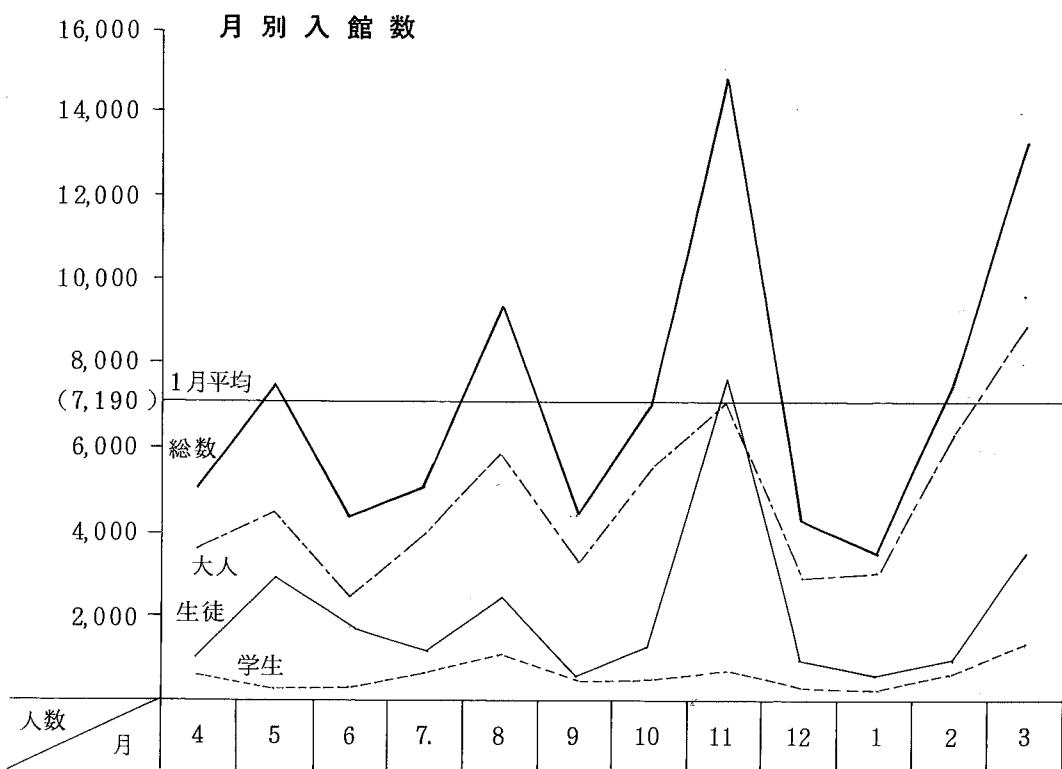
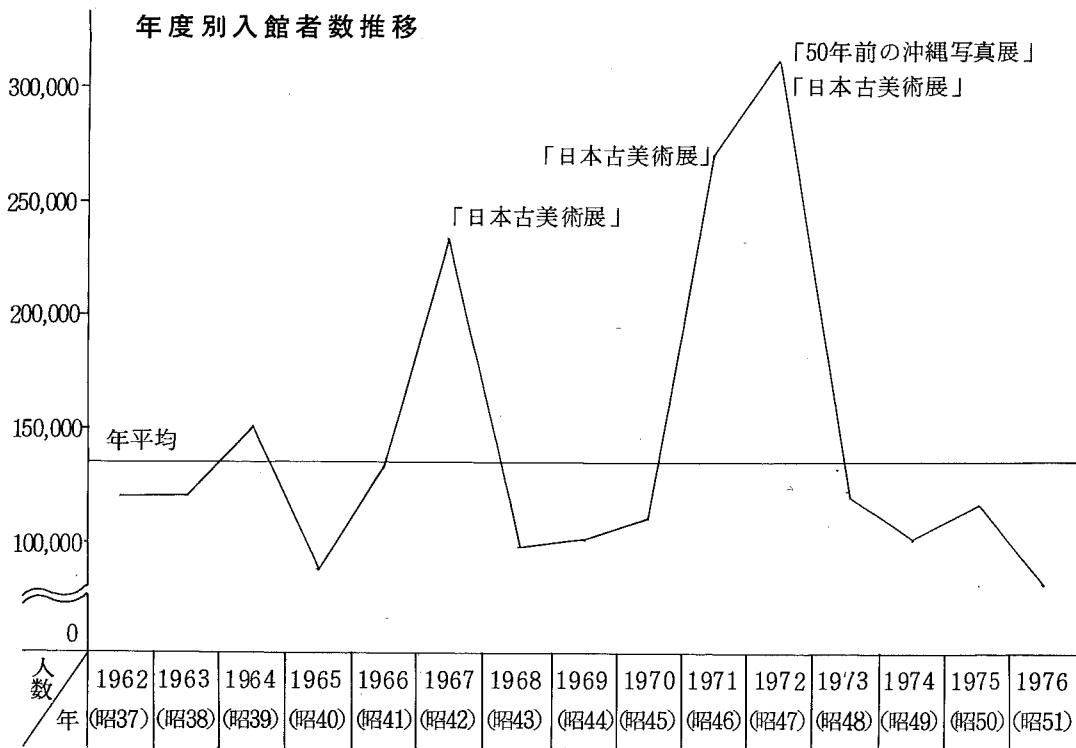
項目 月	個人				団体				合計				開館日数	1日平均	
	大人	学生	小中高生	計	大人	学生	小中高生	計	大人	学生	小中高生	計			
51年	4	3,425	426	513	4,364	261	0	313	574	3,686	426	826	4,938	25	198
	5	3,595	130	442	4,167	890	34	2,378	3,302	4,485	164	2,820	7,469	25	299
	6	2,100	106	365	2,571	390	0	1,293	1,683	2,490	106	1,658	4,254	23	185
	7	3,629	468	741	4,838	361	0	345	706	3,990	468	1,086	5,544	23	241
	8	5,600	1,049	1,556	8,205	213	13	919	1,145	5,813	1,062	2,475	9,350	26	360
	9	3,035	248	336	3,619	163	0	36	199	3,198	248	372	3,818	23	166
	10	4,752	234	336	5,322	732	53	963	1,748	5,484	287	1,299	7,070	26	272
	11	5,919	377	737	7,033	1,263	21	6,939	8,223	7,182	398	7,676	15,256	24	636
	12	2,799	139	446	3,384	319	0	439	758	3,118	139	885	4,142	23	180
	計	51,255	4,959	7,813	64,027	6,228	203	15,819	22,250	57,483	5,162	23,632	86,277	287	300

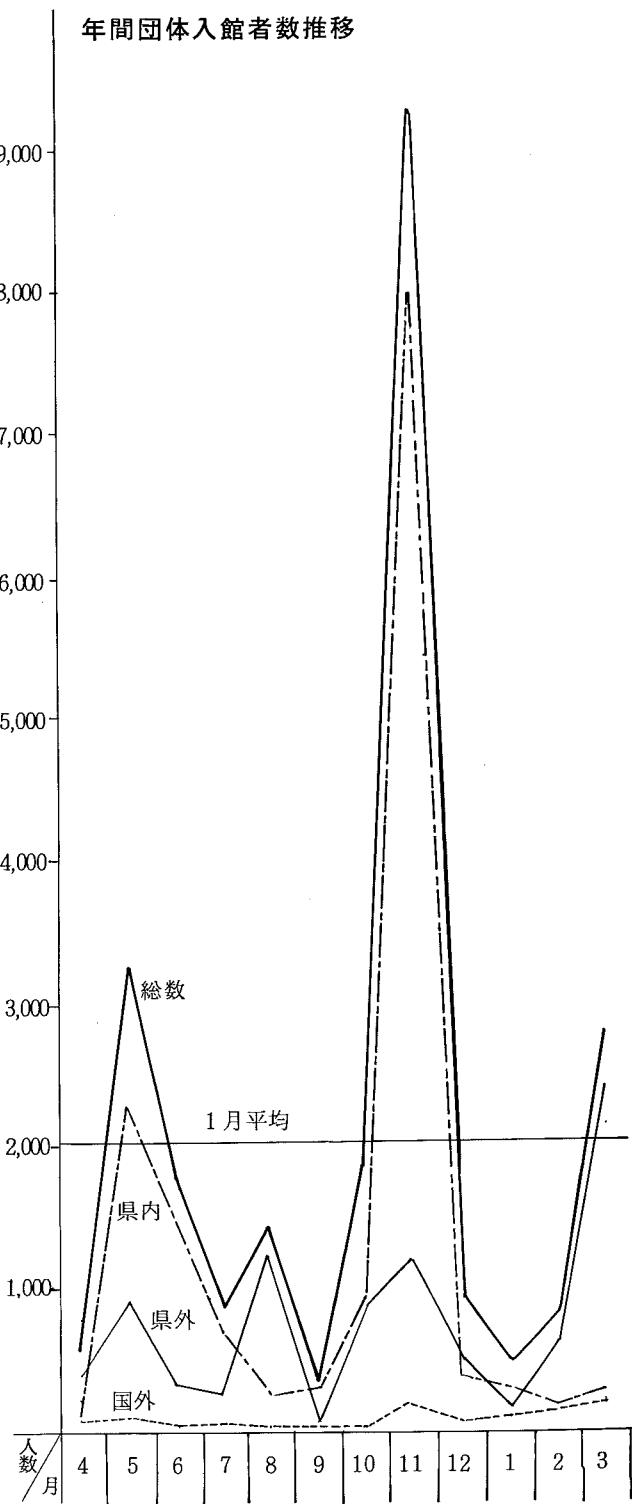
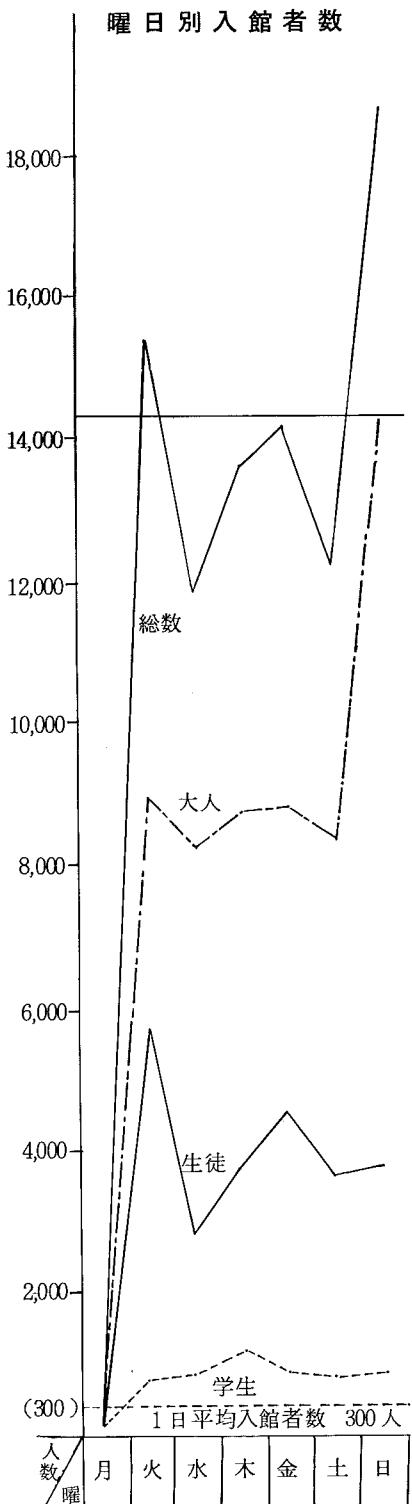
曜日別入館者数

項目 曜日	個人				団体				総利用				開館日数	1日平均		
	大人	学生	小中高生	計	大人	学生	小中高生	計	大人	学生	小中高生	計		個人	団体	計
日	11,585	789	2,830	15,204	2,706	0	714	3,420	14,291	789	3,544	18,624	51	298	67	365
月	109	18	12	139	0	0	0	0	109	18	12	139	1	139	0	139
火	8,304	726	1,006	10,036	630	0	4,701	5,331	8,934	726	5,707	15,367	48	209	111	320
水	7,537	711	873	9,121	608	87	1,970	2,665	8,145	798	2,843	11,786	45	203	59	262
木	8,133	1,093	800	10,026	654	41	2,993	3,688	8,787	1,134	3,793	13,714	47	213	78	292
金	7,875	828	940	9,643	965	75	3,544	4,584	8,840	903	4,484	14,227	47	205	98	303
土	7,712	794	1,352	9,858	665	0	1,897	2,562	8,377	794	3,249	12,420	48	205	54	259
計	51,255	4,959	7,813	64,027	6,228	203	15,819	22,250	57,483	5,162	23,632	86,277	287	222	78	300

団体入館者数(含・入館料免除団体)

項目 月	県内				県外				国外(含・沖縄県在住外国人)				総数																			
	小中高生	学生	大人	合計	小中高生	学生	大人	合計	小中高生	学生	大人	合計	小中高生	学生	大人	合計																
4	0	0	0	2	87	2	277	0	0	5	126	7	403	1	26	0	1	23	2	49	3	303	0	0	8	236	11	539				
5	17	1,454	0	0	13	797	30	2,251	3	592	1	34	10	333	14	959	2	53	0	0	0	2	53	22,099	1	34	23	1,30	46	3,263		
6	16	1,306	0	0	2	101	18	1,407	0	0	0	5	331	5	331	0	0	0	1	19	1	19	16	1,306	0	0	8	451	24	1,757		
7	3	183	0	0	9	412	12	595	6	226	0	0	1	20	7	246	0	0	0	0	1	23	1	23	9	409	0	0	11	455	20	864
8	0	0	0	5	244	5	244	3	715	0	0	6	460	9	1,175	0	0	0	0	0	0	0	3	715	0	0	11	704	14	1,419		
9	1	36	0	0	6	281	7	317	0	0	0	1	37	1	37	0	0	0	0	0	0	0	1	36	0	0	7	318	8	354		
10	10	830	0	0	3	127	13	957	1	133	1	53	16	678	18	864	0	0	0	0	0	0	0	11	963	1	53	19	805	31	1,821	
11	68	6,937	1	22	17	1,033	86	7,992	3	411	0	0	11	729	14	1,140	5	142	0	0	0	0	5	142	76	7,490	1	22	28	1,762	105	9,274
12	2	70	0	0	7	326	9	396	2	304	0	0	3	170	5	474	1	32	0	0	0	0	5	406	0	0	10	496	15	902		
1	1	34	0	0	4	268	5	302	0	0	0	1	136	1	136	0	0	0	0	2	52	2	52	1	34	0	0	7	456	8	490	
2	3	96	0	0	1	20	4	116	0	0	1	62	12	621	13	683	1	58	0	0	1	36	2	94	4	154	1	62	14	677	19	893
3	1	25	0	0	5	267	6	292	13	1,831	0	0	17	574	30	2,405	5	153	0	0	0	0	5	153	19	2,009	0	0	22	841	41	2,850
計	122	10,971	1	22	74	3,963	197	14,956	33	4,489	3	149	88	4,215	124	9,853	15	464	0	0	6	153	21	617	170	15,924	4	171	168	3,331	342	24,426





資料

1) 収蔵資料現在高

昭和52年3月31日現在

分類 受理次第	購入	寄贈	収集	移管	計
絵画 A	52	48	1	・	101
書跡 B	76	68	49	・	193
彫刻 C	11	22	163	・	196
建築 D	4	17	・	・	21
陶磁 E	416	512	256	502	1,686
染織 F	759	183	12	・	956
漆器 G	161	123	28	・	312
金工 H	10	47	19	・	76
歴史 I	・	30	・	・	30
貨幣 J	25	464	2	・	491
音楽 K	4	32	・	・	36
装身具 L	62	35	・	・	97
民俗 M	404	932	54	73	1,463
考古 N	36	51	2	・	89
武器・武具 O	・	17	・	・	17
戦争 P	111	3	・	・	114
自然 X	32	21	・	・	53
計	2,163	2,605	586	575	5,929

2) 新収蔵資料

(1) 購入の部

分類	名 称	数 量	分類	名 称	数 量
陶磁器	赤絵鶴首瓶	1		魚文大皿	1
	荒焼徳利	1		魚文壺	1
	耳付花生	1		喜名焼味噌甕	1
	飴釉花生	1 対 2 点		知花焼大甕	1
	輪模様瓶子	2		〃味噌甕	2
	輪模様飛鉢対瓶	1		壺屋焼甕	1
	飴釉徳利	1	漆 器	朱塗山水絵沈金提重	1
	〃油壺	1		朱塗蒔絵丸型東道盆	1
	油壺	1		朱塗ターキー	1
	古伊万里赤絵油壺	1	書 跡	鄭元偉書軸	6
	〃染付碗	1	染 織	黄色地松竹梅鶴亀模様 びんがた風呂敷	1
	竹筒型花生	2		藍型菖蒲模様着物	1

(2) 寄贈の部

分類	名 称	数 量	寄 贈 者	出 身 地
陶磁器	荒焼一合升	1	知 龜	市 市 市 市
	土器壺 他9点	10	念 浜 敷 原 志 知	霸 良 繩 霸 平 沖 那
漆 器	漬物甕	1	常 幸 堅 間 松 外 伸 外	三 久 繁 明 三 諭 作 助 男 成
	荒焼三耳壺	1	良 繢 裕 吉 勝 尹	績 常 繢 之 ヨ
	素焼花生	1	成 間 村 本 間	成 之 ヨ
	吸物椀	1	"	シ 次 店 仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎
	朱塗漆器椀	1	シ 次 店 仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	シ 次 店 仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎
	三国通覧図説琉球国	1 部	シ 次 店 仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	阪 城 霸 名 霸
	壺型厨子甕	1	頭 飯 進 米 島 慶 禅 太 真 常 晴 誠 四 千 完 ツ 千	添 良 霸 名 霸
	クルマボウ	1	頭 飯 進 米 島 慶 禅 太 真 常 晴 誠 四 千 完 ツ 千	護 敷 名 霸
	アジン	1	頭 飯 進 米 島 慶 禅 太 真 常 晴 誠 四 千 完 ツ 千	都 垣 敷 霸
	味噌甕 他4点	5	中 政 山 湖 宮 安 白 島 片 宮 森 吉 龜 大 沖 中 沖 上 普 天	都 垣 敷 霸
民 俗	フジョウ	1	岡 城 城 城 村 川 袋 岡 平 田 田 浜 浜 野 野 野 野 伊 志 堅	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	ムチンブサー	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	壺型厨子甕	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	"	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	サギゾーキ	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	枕	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	位牌	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	蚊張	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	雨用 他1点	2	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	カイ 他4点	5	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	馬艦船模型	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	水甕 他2点	3	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	位牌 他10点	11	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	ホヤランプ	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	フドウチ(おさ)	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	たわら編み台 他20点	21	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	壺型厨子甕	4	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	糸車	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	高倉	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	素焼壺 他9点	10	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	屋根瓦	10	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	花瓦	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
	重箱(ケース入り)	1	仁 利 文 秋 輔 教 郎 文 栄 久 美 郎	代 吉 ル 代 明 盛 一 吉 敏 福
書 跡	鉄製木炭アイロン	3	國 伊 玉 普 天	京 石 佐 那
	アンガマ面	2	國 伊 玉 普 天	佐 那
	壺	1	國 伊 玉 普 天	佐 那
	バリ島の土瓶	7	國 伊 玉 普 天	佐 那
	壺	8	國 伊 玉 普 天	佐 那
	箱火鉢	1	國 伊 玉 普 天	佐 那
	サバニ(松くり舟)	1	國 伊 玉 普 天	佐 那
	世持橋勾欄羽目拓本	1	國 伊 玉 普 天	佐 那

分類	名 称	数 量	寄 贈 者	出 地
書 跡	印鑑	1	城 間 山 戸	那霸市
	質問本草内篇卷三、四	1	田 裕 作	京都霸市
武器武具	サイ	1	松 吉 正	那霸
戦 爭	切込用日本軍刀	1	又 長 克	" "
	歩兵銃	1		
樂 器	三味線	1	城 新 蒲	ペル
装 身 具	かんざし	1	伊 波 ツ	那霸良市
	ジーファー	1	亀 渡 常	平琉大家政
染 織	ハカマ	2	渡 口 文	東京霸
自 然	魚の化石	1	国 吉 多	美子子
	オオシヤコ貝	1	當 間 嗣	起明
建 築	板戸	1対・2枚	志 堅 原	"
	屋根瓦	8		

3) 収集の部

分 類	名 称	数 量
民 俗	人足バーキ	1
	茶わんバーキ	1
	マグ	1
	敷瓦	1
	ケー	1
考 古	遺構（炉跡，貯藏穴）	1

4) 檢察庁より移管

分 類	名 称	数 量
民 俗	御殿型厨子甕	2
	壺型厨子甕（大）	1
	"　　(小)	1
	塩 壺	1
	油甕	1
	壺型厨子甕	1

3) 新収蔵図書

(1) 購入の部

書名	著編者	書名	著編者
南島 - その歴史と文化 伊波普猷全集第3巻	南島史学会 服部四郎他	日本化石図譜 沖縄の生物 原色日本昆虫図鑑(上)	鹿間時夫 沖縄生物教育研究会 日本甲虫学会
“ 第4巻	”	” (下)	竹内吉蔵
“ 第5巻	”	地学辞典	地学団体研究会
“ 第6巻	”	縄文人の知恵にいどむ 日本列島のおいたち	楠本政助
環シナ海民族文化考	国分直一	原色日本哺乳類図鑑	湊 正雄
日本民族文化の研究	”	生態学辞典	岡田 要他
南九州の民具	小野重朗		沼田 真
民具論集 (4)	日本常民文化研究所		
塩俗問答集	渋沢敬三		
民具入門	宮本馨太郎		
大型有孔虫	半沢正四郎		

(2) 寄贈の部

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
神奈川県民俗調査報告 県央部の民俗(Ⅲ)	1	神川県立 博物館	道立美術館だより 第31号	3	北海道立 美術館
日本の美術	8	至文室	北九州市文化財 調査報告書17.18集	各1	北九州市教育 委員会
鹿児島県明治百年記念館 建設調査室だより	1	鹿児島県明治 百年記念館建 設調査室	資料解説シリーズNo.3 山の民俗砂金掘り	1	北海道開拓 記念館
有形民俗資料調査報告書	1	正木美術館	” ” No.4 北海道アンモナイト	1	”
水墨画と仏教美術展	1	京都国立近代美術館年報 (昭和49年度)	常設展示解説書4	1	”
京都国立近代美術館年報 (昭和49年度)	1	京都国立近代 美術館	北海道開拓記念館だより	3	”
北九州市の埋蔵文化財 館報 5	1	北九州市教育 委員会	浦和市立郷土博物館 研究調査報告書	1	浦和市立郷土 博物館
議会時報	5	武蔵野美術大学	浦和市立郷土博物館報	1	”
昭和49年度 佐賀県立博物館年報	1	県議会事務局	アジア文化 第12巻 第4号	1	財團法人 東洋哲學研究所
資料目録No.4	1	佐賀県立博物館	くろしお文化 第5集	1	黒汐資料館
沖縄教育年報	4	郵政省通信 博物館	公済時報	7	公済組合本部
瀬戸口古墳群	1	教育庁企画室	沖縄の薬草(改訂)	1	月刊沖縄社
北海道立美術館 友の会だより 第5号	1	株式会社リコー 経営管理本部	沖縄の文化財(続)	1	”
		北海道立 美術館	仙台市博物館だより No.16	1	仙台市博物館

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
民俗文化	9	滋賀民俗学会	相模川の舟と漁	1	平塚市博物館
創価学会ニュース	13	創価学会	秋田のおいたち	1	秋田県立博覧館
茨城県歴史館報	1	茨城県歴史館	秋田県立博物館研究報告	1	"
千葉県立安房博物館報 第10号	1	安房博物館	沖縄の統計	7	企画調整部課
大和文華第61号	1	大和文華館	沖縄県統計年鑑	1	"
自然科学と博物館	1	国立科学博物館	県勢要図	1	"
明治村通信	10	明治村	第15回那霸市統計書	1	那霸市役所
板付周辺遺跡調査報告書	1	福岡市教育委員会	ドイツ・リアリズム	1	京都国立近代美術館
美術館だより	2	近代美術館 友の会	家庭画報	1	世界文化社
フォト 51.4.1	1	時事画報社	美術館と名画鑑賞	1	奈良県立民俗博物館
第19回学校基本調査報告書	1	県教育庁	奈良県立民俗博物館だより	1	丸善株式会社
埼玉県立博物館だより14号	1	埼玉県立博物館	丸善ライブラリーニュース	1	丸善株式会社
文化科学館	1	佐世保市文化館	民有地適地適木調査報告 第3報	2	沖縄県農林水産部林務課
美しいきもの着付け	1	月刊沖縄社	徳之島採集手帳	1	徳之島郷土研究会
あるく・みる・きく	10	日本観光文化研究所	うるま創立70周年記念誌	2	那霸商業高校
青い海	8	青い海出版社	美術工芸誌用と美 No.15	1	用と美の会
長崎県立美術博物館だより No.23	1	長崎県立美術館	第2回海洋博シンポジウム	1	海洋博シンポジウム実行委員会
奈良県立美術館年報	1	奈良県立美術館	第28回新匠展覧会図録	3	新匠会
調査研究年報 第1号	1	青森県立資料館	安房博物館報 12号	1	安房博物館
博物館のひろば No.19	1	神奈川県博物館協会	船のしくみ	1	財団法人日本海洋科学振興会
神奈川県博物館協会会報第34号	1	"	船のできるまで	1	"
国立科学博物館研究報告		国立科学博物館	新しい船のいろいろ	1	"
A類(動物学)	3	"	東北歴史資料館年報(昭和50年)	1	東北歴史資料館
B類(植物学)	3	"	研究紀要 "	1	"
C類(地質学・古生物学)	3	"	" 報(陸奥及於久)	1	"
博物館通信 3	1	平塚市博物館	第19集 狸山遺跡	1	北九州市教育委員会
" 4	1	"	第20集 寺町遺跡	1	"
平塚市博物館	1	"	伊場遺跡発掘調査報告書(伊場木簡)	1	浜松市教育委員会
			昭和50年度 佐敷村文化財要覧	1	佐敷村教育委員会

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
沖縄県民具 民芸品実態調査報告書	1	沖縄開発庁沖 縄総合事務局	津山郷土館報 第8集	1	市立津山館
大阪市立自然科学 博物館研究報告	22	大阪市立 自然史博物館	鳥取県立博物館研究報告	1	鳥取県立 博物館
自治 おきなわ	3	沖縄県町村会	貝類資料目録 (2)	1	"
沖国大考古	1	沖縄国際大学 考古学研究室	化石資料目録 (2)	1	"
沖縄国際大学文学部紀要	1	沖縄国際大学 文学部	郷土と博物館	1	"
中山伝信録 (上)	1	沖縄県立 書籍館	開拓記念館調査報告 第11号	1	北海道開拓記念館
佐賀県立博物館報 No.30	1	佐賀県立 博物館	札苅 (北海道上磯郡木古内 町における縄文時代晚期 土塗墓の調査)	1	"
横須賀市博物館館報 研究報告 第19号	1	横須賀市 博物館	あなたの科学技術	1	科学技術庁 振興局
" 第22号	1	"	山形県高畠町大立洞穴 (第1次調査概報)	1	山形県立 博物館
佐賀県立博物館報 No.32	1	佐賀県立 博物館	山形県立博物館 研究報告 第4号	1	"
前田青頓展	1	東京国立近代美術館	読谷村立 歴史民俗資料館館報	2	読谷村立歴史 民俗資料館
シェルレアリスム展	1	"	市立市川博物館 研究調査報告 第3冊 法皇塚古墳	1	市立市川博物館
双魚 第四号	9	双魚洞	東京国立博物館 紀要 第11号	1	東京国立 博物館
沖縄-自然・文化・社会	1	弘文堂	東京国立博物館美術誌	8	"
沖縄国際大学 文学部紀要 社会篇	1	沖縄国際大学	市立旭川郷土博物館	1	市立旭川 博物館
" 第2巻第1号 社会科学篇	1	"	月報 51年1月, 2月	3	"
" 第3巻第1号 社会科学篇	1	"	3月,		
第30回 新匠展覧会図録	7	新匠会	旭川市立郷土博物館 所蔵品目録	1	"
千葉県立 安房博物館報	1	千葉県立 安房博物館	山陽新幹線関係埋蔵文化 財調査報告 第1集	1	福岡県教育委員会
収藏目録 II	1	"	" 第2集	1	"
釧路市立郷土博物館報	2	釧路市立 郷土博物館	昭和50年度 山陽新幹線 関係埋蔵文化財調査概報	1	"
釧路市三津浦遺跡発掘報告	1	"	創立70周年記念龍泉集房 第1集	1	"
大阪市立自然史 博物館収蔵資料目録		大阪市立自然史 博物館	県政のあゆみ	1	蘭山龍泉堂
第1集, 第2集	1	"	" 第2集	1	"
大阪市立自然史 博物館収蔵資料目録			東京大学総合研究資料館 標本資料報告 第1号	2	沖縄県企画調整部
第3集 第4集	1	"	沖縄- 第3回研修旅行の 報告	1	東京大学総合 研究資料館
第6集	1	"		1	早稲田実業高校

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
伊波普猷年譜	1	伊波普猷生誕百年記念会	歴史資料館収蔵資料目録	1	福島県文化センター
著書論文目録	1	"	沖縄館運営報告書	1	沖縄県観光開発公社
王堂チエンバレン	1	琉球文化社	加曾利貝塚II	1	千葉市加曾利貝塚博物館
ロー・タリーの友 No.6	1	ロー・タリーの友編集事務所	文化学年報	1	同志社大学図書館
民話と伝説14 南九州・沖縄	1	学習研究所社流通事業部	昭和49年度 社会教育主事等研修のまとめ	1	県教育委員会社会教育課
博物館利用の手引		秋田県立博物館	昭和50年度 PTA指導者研集会年録	1	"
勝平得之創作版画図録	1	"	昭和49年度 PTA指導者研集会年録	1	"
岐阜県博物館	1	岐阜県博物館	昭和50年度 PTA指導者研究集会年録	1	"
郷土資料集4 神社明細帳	1	稲城市教育委員会	昭和49年度 PTA指導者研究集会	1	"
美術の森	1	北九州市立美術館	てんまてんじん第9号	1	大阪天満宮社
古賀春江 資料展	1	"	茨城県歴史館だより	1	茨城県歴史館
ヨーロッパ近代の4人	1	"	ネギノ遺跡(第35輯)	1	大分県教育庁文化課芸術会館建設準備班
日本の近代 作家による素描展	1	"	大分県の民俗地図	1	"
日本の歴史	1	学習研究社	大分県の植生	1	"
平安、鎌倉の金銅仏	1	奈良国立博物館	大分県植生図	6	"
図書館年報 昭和49年度	1	琉球大学図書館	研究論集 2	1	九州歴史資料館
保健体育課要覧	1	教育庁	朝倉橋廣庭宮跡の伝承地	1	"
昭和50年度 あゆみ	1	沖縄兵庫友愛スポーツセンター	大宰府史跡	1	"
東京芸術大学芸術資料館年報	1	東京芸術大学芸術資料館	九州歴史資料館年報	1	"
昭和49年度 京都国立博物館年報	1	京都国立博物館	ごがに 18号	7	若狭小学校
沖縄近世、王、大名士分の礼服について	1	仲井真治子	屋嘉比島のケラマジカ	1	沖縄県教育委員会
小松市立博物館 研究紀要第11集	1	小松市立博物館	縄文式土器のうつりかわり	1	青森県郷土館
国立民族学博物館研究報告	1	国立民族学博物館	おかやまの歴史と美	1	岡山県立博物館
紀要第7号	1	石川県立郷土資料館	岡山県立博物館だよりNo.8	1	"
開拓記念館だより No.1	1	北海道開拓記念館	法政大学沖縄文化研究所所報 6号	1	法政大学沖縄文化研究所
近藤家資料目録	1	"	法政大学沖縄文化研究所所報 7号	1	"
熱帯花木	1	新星図書	養秀 第2号	1	首里高校
			ヒグマ	1	北拓記念館

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
夏季特別展 相模川の生きものたち	1	平塚市博物館	横浜市金利谷開発地区文化財研究調査報告書(歴史・民俗編)	1	横浜市文化財研究調査会
ブリヂストン美術館館報24	1	石橋財団ブリヂストン美術館	全国私立美術館所蔵作品作家別目録	1	文化庁文化部文化普及課
石川県美術館だより 第29号、第30号	2	石川県美術館	神奈川県立博物館研究報告(自然科学9号)	1	神奈川県立博物館
海へのいざない	1	財団法人日本海事広報協会	伊達政宗展	1	仙台市博物館
76 われらをめぐる海	1	"	美術の森 8	1	北九州市立美術館
海へのものしり手帖	1	"	国立民族学博物館要覧 1976年	1	国立民族学博物館
わかりやすい海事知識	1	"	海—その望ましい未来	1	沖縄国際海洋局
76 数字で見る 日本の海運・造船	1	"	算額	1	東北歴史資料館
七つの海七つの知恵	1	"	昭和50年度 神奈川県立博物館年報	1	神奈川県立博物館
ちばの博物館	1	船橋市郷土資料館	慶佐次濱のヒルギ林 緊急調査報告	1	神奈川県立博物館
九州縦貫自動車道関係 埋蔵文化財調査報告 No.7	1	福岡県教育委員会	柳田国男誕百年記念国際シンポジウム民俗調査報告書	2	柳田国男百念会
船橋の歴史(第6回郷土史講座講議録)	1	船橋市郷土資料館	民俗調査報告書	2	"
第14回展示資料観覧の 手引	1	"	No.239 釧路市立郷土博物館館報	1	釧路市立博物館
異色の水墨画家	1	京都国立近代美術館	会員職員録 1976, 77	1	日本協立館
あなたの科学技術 特集・水のはたらき	2	科学技術庁振興局普及啓発課	北陸の古陶	1	小松市博物館
しゅんだう考(沖縄芸能 史研究会々誌創刊号)	1	照屋寛善	競争入札参加資格者名簿	1	沖縄県員会
総合事務局報 第41号	1	沖縄総務省	竹富町種子取祭	1	竹富島民俗芸芸会
海事資料館年報 No.3	1	神戸商船大学 海事資料館	古文書等緊急調査報告書	1	沖縄県員会
国立民族学博物館 研究報告 1巻2号	1	国立民族学博物館	開拓記念調査報告書12号	1	北海道開拓館
沖縄史料編集所紀要	1	沖縄史料編集所	東京都の自然 第4号	1	東京都高尾自然科学博物館
心象水墨障壁画を中心と する豊秋半二展	1	天岡滿屋	郡馬の絵馬	1	郡馬県立館
久留米市文化財調査報告書 第12集「築後國府跡」	1	久留米市教育委員会	津山の文化財	1	市立津山館
図録 太宰府天満宮	1	太宰府天満宮	郡馬県立博物館報 第18号	1	郡馬県立館
第21回 地方教育行政調査報告書	1	沖縄県教育委員会	特別展 紀伊国古墳時代 の生活と文化	1	和歌山県立紀伊國風土記の丘資料館
岡山民俗	4	岡山民俗学会	「東奈良」概要報告書	1	東奈良遺跡調査会
会報 No.91	1	"	南島研究 産育儀礼17号	6	南島研究会
沖縄天然記念物 調査シリーズ 第6集			史料館報第25号	1	国立史料館
塩川動態調査報告	2	沖縄県教育委員会	京急油壺マリンパーク水族館年報 第7号、第8号	2	株式会社京急油壺マリンパーク

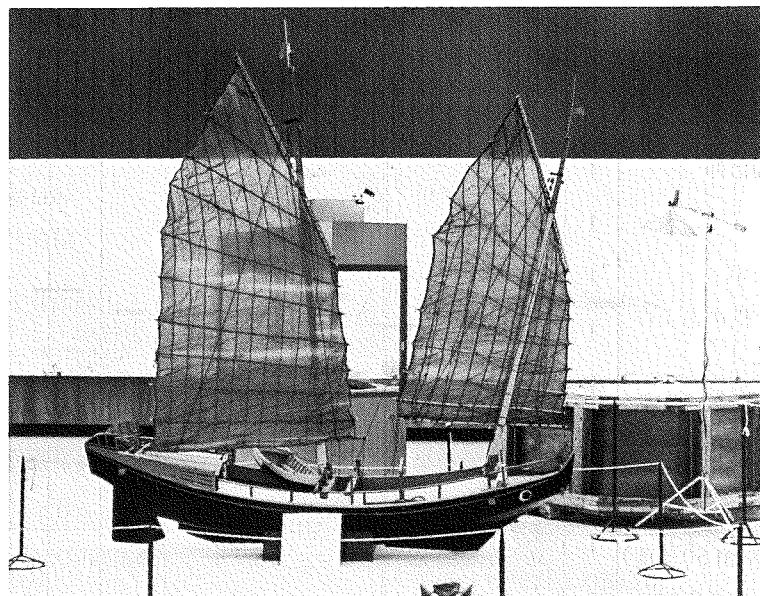
書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
保存科学研究会調査及び工事報告書(概要集第1集)	1	保存科学研究会	発掘された郷土の古代	1	石川県立郷土資料館
広報社会教育 №36	1	具志川市教育委員会	むら・まつり・こふん	1	奈良県立考古博物館
江戸時代図誌(1) 京都一	1	筑摩書房	九州地区視聴覚ライブラリーリー研究協議会	1	県教育委員会社会教育課
江戸一(4)	1	"	あなたの科学技術 (秋季号)	2	科学技術庁振興局普及啓発課
大阪(3)	1	"	志賀島「漢倭奴国王」金印と志賀島の考古学的研究	1	西谷正
江戸二(5)	1	"	美をもとめて №16 1976-11	1	文化庁長官官房庶務課
日光道(9)	1	"	文化庁目報 №97 76-10	1	"
中山道二(11)	1	"	秋期特別展図録 「発掘への接待」№1	1	平塚市博物館
東海道一(14)	1	"	資料図録 №5 図書資料(その1)	1	通信博物館
東海道三(16)	1	"	今日の造形(織) ヨーロッパと日本	1	京都国立近代美術館
山陽通(20)	1	"	海の総合雑誌 ラタール 創刊号	3	財団法人日本海事広報協会
南海道(21)	1	"	青森県立郷土館だより	1	青森県立郷土館
西海道一(22)	1	"	那覇市史だより	2	那覇市企画部市史編集室
長崎・横浜(25)	2	"	古代文化 7	1	財团法人古代学協会
ムゼイオン 第22号	1	立教大学・学校社会教育講座	奈良国立文化財研究所年報	1	奈良国立文化財研究所
沖縄倒産再建学	1	南西企業研究所 布茂寿	文人画	1	熊本県立美術館
沖縄県市町別大字・小字名集	1	県土地調査事務局	大宰府町の文化財	1	福岡県教育委員会
特別展図録さいたまの肖像	1	埼玉県立博物館	東田古墳群	1	"
琉球歴史物語	1	月刊沖縄社	大南遺跡調査概報	1	"
家庭画報ふるさと民芸品	1	世界文化社	今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告書		
季刊 菅	2	創樹社美術出版	第3集	1	"
季刊 科学の眼 自然科学と博物館	1	国立科学博物館	第4集	1	"
国立民族学博物館研究報告1巻3号	1	国立民族博物館	恵子若山遺跡	1	"
石川県美術館だより 第32号	1	石川県美術館	スダレ遺跡	1	"
大宰府史跡出土木簡概報	1	九州歴史資料館	崎玉県立博物館紀要 2	1	埼玉県立博物館
九州歴史資料館および大宰府遺跡のご案内	1	"	アメリカのキルト	1	京都国立近代美術館
琉球文学論	1	沖縄タイムス文化部業局	久米島具志川村史	1	具志川村
なりた №14	1	成田山史料館	沖縄の釣り	1	月刊沖縄社

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
人間博物館 リトルワールドニュースNo.5	2	財団法人 リトルワールド	琉球藍の醸酵建に関する研究	1	琉大農学部
大阪市立博物館報	1	大阪市立博物館	ムラのなかま	1	東北歴史資料館
大阪市立博物館 研究紀要(第8冊)	1	"	第16回 那覇市統計書 第51年度	1	那覇市役所企画部企画課
1976年刊 美術家名鑑	1	美術俱楽部 出版部	苦小牧市 文化財調査報告3~4	2	苦小牧市教育委員会
76 現代の日本美術	1	"	昭和50年度 特別展 (きたのけもの展) 目録	2	苦小牧市青年センター
文化庁月報 76-6	1	文化庁長官 官房庶務課	沖縄植物雑報	1	天野鉄夫
美をもとめて "	2	"	昭和51年度 第20回 学校基本調査報告書	1	教育庁企画室
Graphic Arts Japan 1976-77年版 (印刷年鑑)	1	東レ株式会社 新事業推進部 印刷材料課	ちばの博物館	1	千葉県 博物館協会
伊波普猷全集 第11巻	1	株式会社 平凡社	船橋の歴史(Ⅱ)	1	船橋市郷土資料館
山形大学附属郷土博物館 報No.3	1	山形大学附属 郷土博物館	船橋市郷土資料館 第15回展示資料観覧手引	1	"
千葉県立安房博物館報 第13号	1	千葉県立 安房博物館	大宰府天満宮史料(巻10)	1	太宰府天満宮研究所
国立歴史民俗博物館	1	文化庁文化財 保護部管理課内	北九州市 文化財調査報告書第21集 郷土と博物館 第22巻第1号(通巻43号)	1	北九州市教育委員会
陸奥東北歴史 ミチノク資料館第6号	1	東北歴史 資料館	石橋美術館々報 No.20	1	石橋美術館
奈良国立文化財研究所 年報 No.27	1	奈良国立文化 財研究所	鶴町遺跡 福岡市埋蔵文化 財調査報告書第37集	1	福岡市教育委員会
新旧対照暦	1	當間諭	津山市史第2巻中世	1	津山市役所
徳島県博物館館報No.26	1	徳島県博物館	九州の原始文様ー 縄文土器にその原点を探るー	1	佐賀県立館 博物館
琉球の方言	1	法政大学 沖縄文化研究所	秋田県の考古学	1	奈良修介
熊本の美術	1	熊本県立 美術館	雪国の民俗	1	青森県立館 博物館
昭和51年度 沖縄県教育 映画祭	1	教育庁社 教会教育課	調査研究年報 第2号 1976	1	"
第2回沖縄県社会教育放 送利用研究大会	1	"	房総のあけぼの 展示解説	1	市立市川館 博物館
琉球歴史物語	1	新屋敷幸繁	沖縄の行事料理	1	月刊沖縄社
昭和51学年 第471回(沖縄) 文部省教員海外派遣報告書	1	平山良明	沖縄の自然(植物誌)	1	"
名古屋市博物館(仮称) 準備年報 昭和50年度	1	名古屋市教育 委員会事務局 社会教育部	和歌山県知事 大橋正雄先生を偲ぶ	1	内田式会社 衣料
くろしお文化 第6号	1	黒汐資料館	THE DYER'S ART	1	V N R
琉球大学教育学部 紀要第20集	1	琉球大学	日本染織芸術業書 型染	1	神谷栄子
沖縄風俗絵画	1	月刊沖縄社	"		

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
瑞浪市化石博物館 友の会機関紙	3	瑞浪市 化石博物館	九州沖縄の民間療法	1	岡本恵昭
自然科学と博物館	1	科学博物館会 後援	宮古島郷土史	1	砂川明芳
瑞浪市 化石博物館研究報告第3号	1	瑞浪市 化石博物館	昭和49年度、50年度 おもろさうし(修理前後 の写真)重要文化財	1	池上幸二郎
鹿児島経済大 地域経済研究所	1	鹿児島 経済大 地経 域研 究所	句集 雁門集	1	"
沖縄関係蔵書目録	1	通信博物館	池上浩山人句集 雁門集附録	1	"
郵政省通信博物館 資料目録	1	宮崎県 総合博物館	古文化財の科学第19号	1	東京国立文化財 研究所
民俗特別展「日向の山と 海と川の生活」一山村生 産用具と漁労具一図録	1	10年のあゆみ	10年のあゆみ	1	県住宅 公社
鶴町遺跡 福岡市埋蔵文化財 調査報告書 第37集	1	福岡県 教育委員会	沖縄振興開発	2	沖縄県 総合事務局
九州歴史資料館年報	1	九州歴史 資料館	民俗学評論 第15号	1	大塚民俗学会
恩地孝四郎と「月映」	1	東京国立近代 美術館	東京大学 総合研究資料館要覧	1	東京大学総合 研究資料館
第16回版 東京国際版画 ビエンナーレ展	1	"	長崎県立 美術博物館だよりNo.26	1	長崎県立 美術博物館
シャガール展	1	"	鹿児島県明治百年記念 館建設調査室だより	1	鹿児島県明治百年 記念館建設調査室
ルフィーノ・タマヨ展	1	"	小樽市博物館だより 11	1	小樽市博物館
キュービズム展	1	"	資料館だより	2	船橋市 郷土資料館
安田鞠彦展	1	"	奈良県立美術館だより	2	奈良県立 美術館
同志社大学校地内 遺跡調査概要	1	同志社大学	茨城県歴史館だよりNo.8	1	茨城県歴史館
田辺天神山弥 遺跡調査報告	1	"	青森県立郷土館だより	1	青森県立 郷土館
研究紀要 9	1	武藏大学 美術系	石川県美術館だより31号	1	石川県美術館
昭和52年春の青少年育成 県民運動実施要綱	3	県生活福祉部	奈良県立 民俗博物館だよりNo.3	1	奈良県立民俗 博物館
人間博物館リトルワールド 展示企画構想書	1	リトルワールド 展示企画委員会	人間博物館 リトルワールドニュース No.6	3	財團法人 リトルワールド
国立民族学 博物館研究報告	1	国立民族学 博物館	国立博物館ニュース 7月号	1	東京国立 博物館
海の総合雑誌 ラメール	1	財團法人日本 海事広報協会	山形県立 博物館ニュース 第32号	2	山形県立 博物館
民家集落	1	財團法人日本 民家集落博物館	名古屋市博物館 建設準備ニュース No.6	2	名古屋市 教育委員会
沖縄高校家庭クラブ 20周年記念誌	1	沖縄県高等学校 家庭クラブ連盟	秋田県立博物館 博物館ニュース	3	秋田県立 博物館
展示品目録	1	北九州歴史 資料館	八重山文化研究会ニュース	3	東京・八重島 文化研究会
郷土 第15号(記念号)	2	沖縄大学	山形県立博物館ニュース	2	山形県立 博物館
平良市史 第5巻資料編	1	平良市役所			

書名	部数	寄贈者名	書名	部数	寄贈者名
埋蔵文化財ニュース	1	奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター	船橋漁業発達と村の生活 第12回展示資料観覧の手びき	1	船橋市郷土資料館
青森県立郷土館報第3号	1	青森県立郷土館	第13回展示	1	"
小田野沢(下田代納屋B遺跡発掘調査報告書)	1	"			"
青森県の民間信仰	1	"			
展示品図録	1	"			
サンゴ礁の科学	1	中村ヨシ			
おきなわの子供のあそび 植物編	1	"			
沖縄の史跡建造物	1	"			
昭和50年度図書館年報	1	琉大附属図書館			
学内出版物論文総覧 No.1	1	"			
北九州市立美術館年報 (昭和49~昭和50年度)	1	北九州市立美術館			
近代作家による洋画展	1	"			
藤岡一遺作展	1	"			
九州の奈良・平安陶磁 見る	1	九州歴史資料館			
福島県文化センター月報	8	京都国立近代美術館			
博物館研究	7	財団法人福島県立文化センター			
奈良観光	4	日本博物館協会			
教育沖縄	4	奈良観光新聞社			
中国研究月報	20	県教育委員会			
アジア経済旬報	8	社団法人中國研究所			
美術館だより	5	"			
埼玉県立博物館だより	6	和歌山県立近代美術館			
文化科学館友の会だより	2	崎玉県立博物館			
郷土資料館だより	2	佐世保市文化科学館			
博物館だより	1	石川県立郷土資料館			
市立美術館だより	2	神奈川県立博物館			
	2	鹿児島市立美術館			

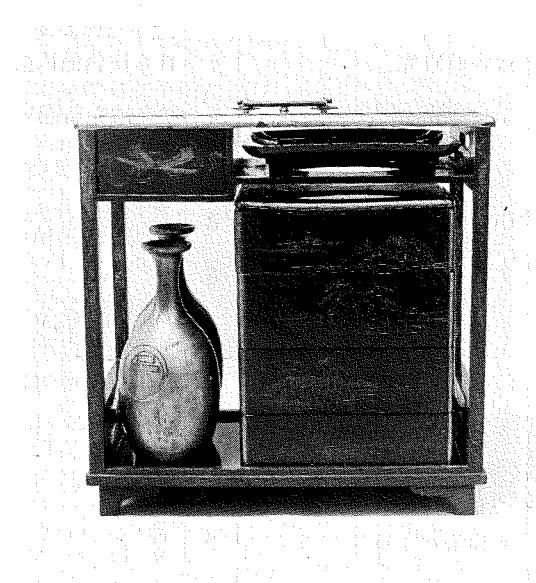
主なる新収蔵品写真



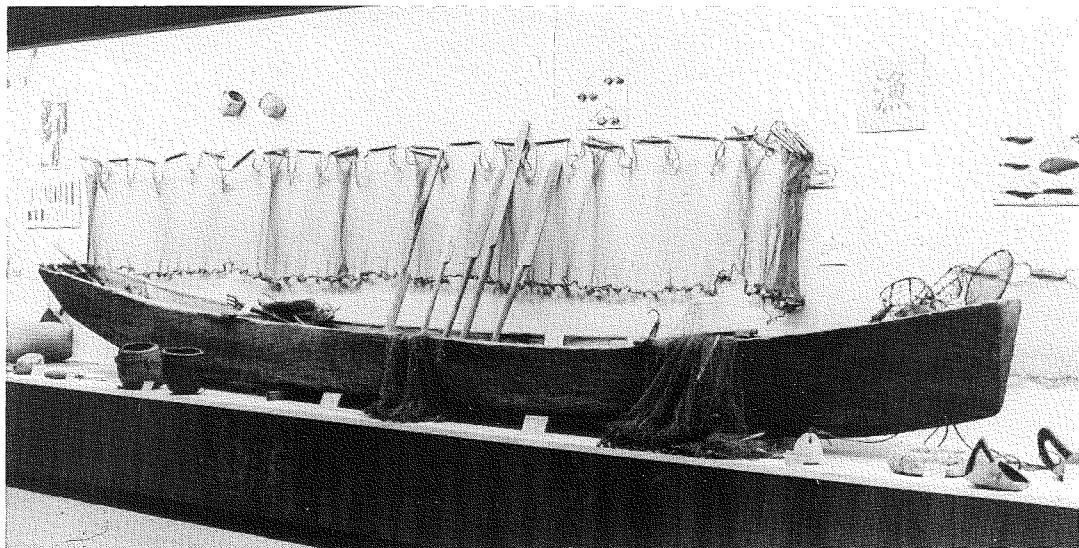
馬艦船模型（吉田真栄氏寄贈）



赤絵鶴瓶



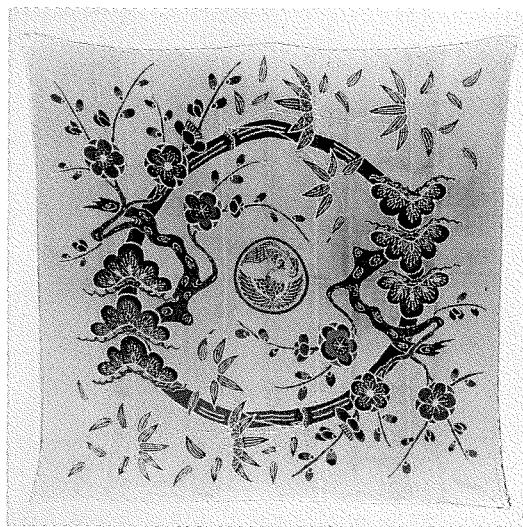
朱塗山水絵沈金提重



サバニ（嶺井宗太郎氏寄贈）



知花焼味噌甕



黄色地松竹梅鶴亀文様紅型風呂敷



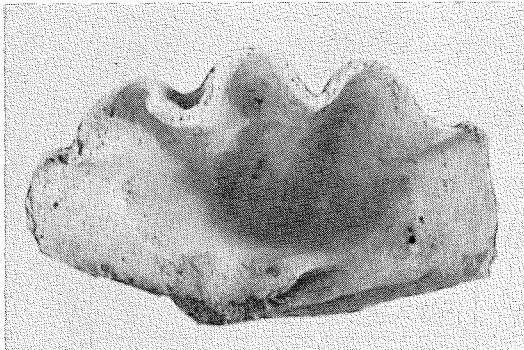
位牌および仏具（一部、大浜晴美氏寄贈）



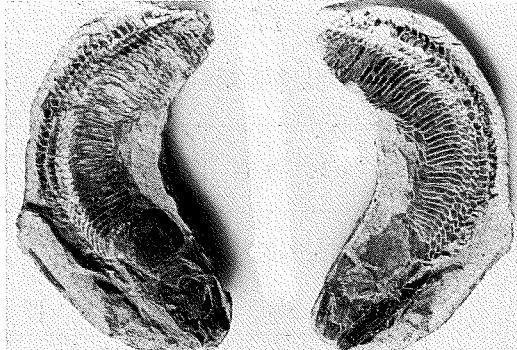
朱塗箔繪丸型東道盆



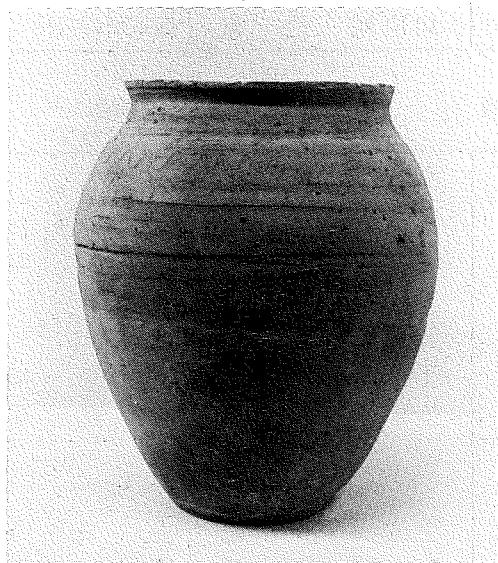
アンガマ面（玉木正吉氏寄贈）



オオシヤコ貝（當真嗣起氏寄贈）



魚化石（国吉多美子氏寄贈）



土器壺（亀浜常久氏寄贈）



鄭元偉書軸

組 織

沖縄県立博物館協議会

学識経験者	照屋 寛祐 外間 政彰	教育庁文化課長 那覇市史編集室長
学校教育関係者 (会長)	福地 昭 田港 昭 安次富 長	沖縄県教職員組合書記長 琉球大学教育学部教授 琉球大学教育学部教授
社会教育関係者	宮里 悅 岸本 実 松村 実 池宮城 秀	沖縄婦人会連合会長 元県議会文教厚生委員会委員長 沖縄タイムス社長 琉球新報会長

博物館職員

館長	外間 正幸	
庶務	新崎 善清 座喜味 よしひ 下地 和子 仲松 正子 玉城 啓一郎 与那嶺 善盛	庶務係長 主事 ノリ ノリ 技師補 用務員
学芸	新田 重清 上江洲 均 宮城 篤正 大城 逸朗 渡名喜 明	(考古・歴史・漆器: 調査研究・ 資料保存) (民俗・書跡・芸能: 資料整理) (絵画・陶磁器・建築: 展示) (自然・石彫: 資料受入) (染織・木彫・装身具: 教育普及)

職員の異動(昭和52年3月31日現在)

転出・採用——なし

沖縄県立博物館

沖縄県立博物館年報 No10 (昭和51年度)

昭和52年8月8日発行

編集・発行 沖縄県立博物館
住所 沖縄県那覇市首里大中町1の1
TEL:0988-32-2243

印刷 栄光堂印刷
住所 沖縄市比屋根1426
TEL:0989⑧-2498・フ-4297